



2008年3月期中間連結決算概要

株式会社マルハニチロホールディングス

代表取締役社長 五十嵐 勇二

2007年11月19日

1. 新持株会社概要



世界においしいしあわせを



商 号 : 株式会社マルハニチロホールディングス
(Maruha Nichiro Holdings, Inc.)
本店所在地 : 東京都千代田区大手町一丁目1番2号
代 表 者 : 代表取締役会長 田中 龍彦
代表取締役社長 五十嵐 勇二
資 本 金 : 310 億円
発行済株式総数 : 普通株式 508,574,884 株
第一種優先株式 7,030,000 株
第二種優先株式 4,000,000 株
(平成19年10月1日現在)
決 算 期 : 3月31日
U R L : <http://www.maruha-nichiro.co.jp>

2. 貸借対照表（連結）



（単位：億円）

2007年10月1日時点概算予想			
流動資産	3,044	流動負債	2,966
現預金	198	仕入債務	515
売上債権	1,189	短期借入金	2,031
たな卸資産	1,369	その他	420
短期貸付金	34	固定負債	1,858
繰延税金資産	43	長期借入金	1,408
貸倒引当金	△ 22	その他	450
その他	233	負債合計	4,824
固定資産	2,776	資本金	310
有形固定資産	1,569	剰余金	531
無形固定資産	296	自己株式	△ 13
（内のれん）	(222)	株主資本	828
投資その他資産	911	評価・換算差額等	0
資産合計	5,820	少数株主持分	168
		純資産合計	996
		負債純資産合計	5,820

3. 2008年3月中間期実績



	マルハグループ 2007年度中間期(実績)			ニチログループ 2007年度中間期(実績)		
	金額	前年比	計画比	金額	前年比	計画比
売上高	3,636 億円	100%	98%	1,216 億円	99%	98%
営業利益	51 億円	79%	63%	12 億円	57%	49%
経常利益	47 億円	76%	67%	5 億円	44%	28%
当期利益	8 億円	69%	27%	24 億円	1,834%	144%

4. 2007年度上半期トピックス



- | | | |
|----|-------------|-------------------------|
| 5月 | ⇒ (株)ニチロ | 大江工場増設 冷凍麺、冷凍米飯 |
| | ⇒ 大洋A&F(株) | 海外巻網船 ふじ丸が竣工 |
| 7月 | ⇒ (株)ニチロ | 黒龍江日魯北大食品有限公司設立 |
| | ⇒ マルハ(株) | 奄美にてクロマグロ採卵 |
| | ⇒ 大洋A&F(株) | 和歌山県那智勝浦町でクロマグロ
養殖開始 |
| 9月 | ⇒ マルハ(株) | 桜島養魚に資本参加 |
| | ⇒ (株)アクリフーズ | 夕張工場増設 |

4-1.海外巻網漁船「ふじ丸」操業開始



ふじ丸概要

全長 : 79.3⁵M

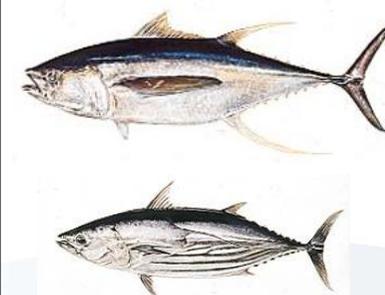
総トン数 : 760トン

エンジン : 3,800馬力

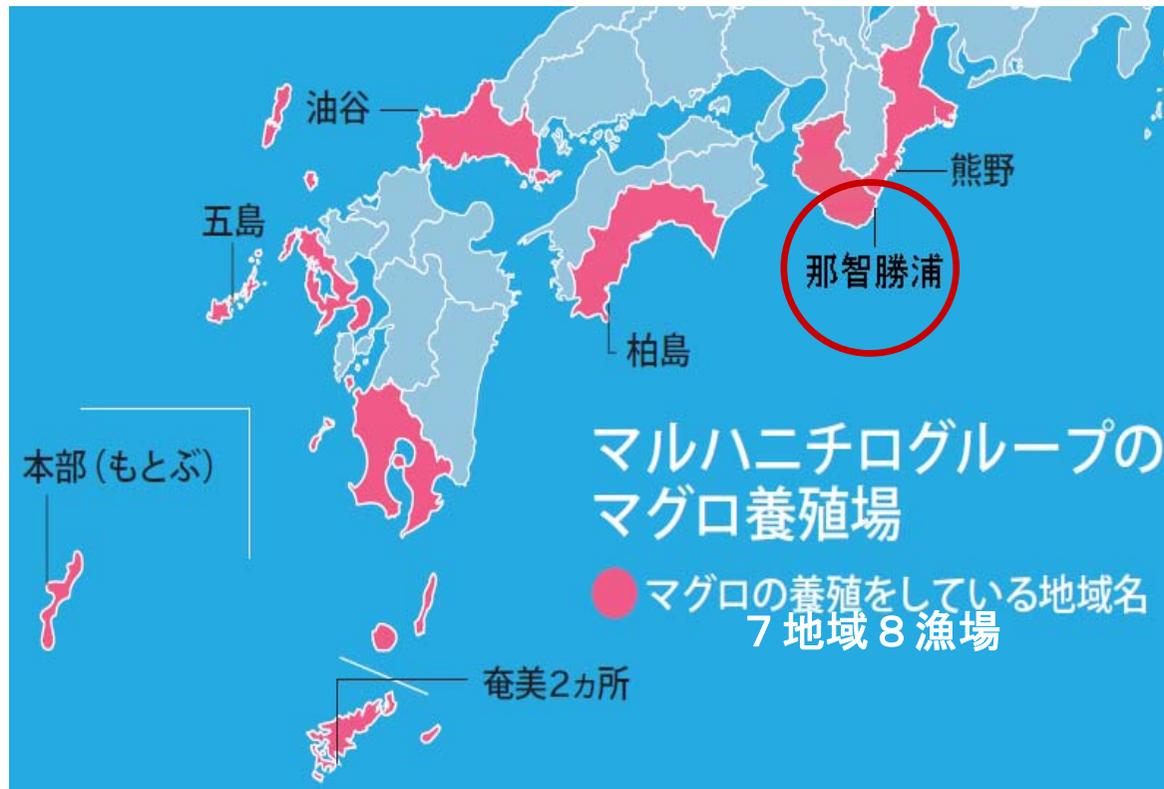
魚艙容積 : 1,840M³

操業海域 : 中西部太平洋

対象魚種 : カツオ・マグロ



4-2.新規クロマグロ養殖事業



和歌山県那智勝浦町

- 2009年以降年間
3千尾出荷予定
- マルハニチログループ
全体で2010年には
2600ト、6万尾の
出荷予定



奄美大島

- 2010年 世界で2例目
の完全養殖達成へ向け
着々と前進



4-3.新規カンパチ養殖事業（桜島養魚）



- ・ 鹿児島県内桜島周辺に4ヶ所、指宿に1ヶ所、計5ヶ所の養殖漁場。
- ・ 8m生簀換算で260台の養殖生簀を展開。
- ・ カンパチを主力に生産し、年間を通して365日活魚出荷を行い、安定的な供給を行っています。



4-4.大江工場増設



所在地：山形県西村山郡大江町

従業員数：280名（増設前、180名）

敷地面積：38,526.72㎡ = 約11,700坪
（増設前、約6,800坪）

施設：建物：鉄骨造2階建て（一部地下1階）
延床面積 18,577.87㎡ = 約5,600坪
（増設前、約2,000坪）

出荷金額：約71億円（H. 20年）

生産能力：冷凍麺類 約12,800トン/年
（建設前、約11,400トン/年）
冷凍米飯類 約11,800トン/年
工場計 約24,600トン/年



4-5.黒龍江日魯北大食品有限公司設立



所在地 : 中華人民共和国黒龍江省鶴崗市
敷地面積 : 19,700 m²
施設 : 工場面積 5,048 m²
生産ライン 2ライン
生産品目 : えだまめ、かぼちゃ、アスパラガス、
ブロッコリー、いんげん、
スイートコーン等の栽培・加工
生産能力 : 4,000 t/年 (第1期建設)
機器類
金属探知機、X線検出機、
残留農薬検査機器
(300項目以上の分析が可能)
農地 : 3,000 ha
(東京ドーム約600個分)



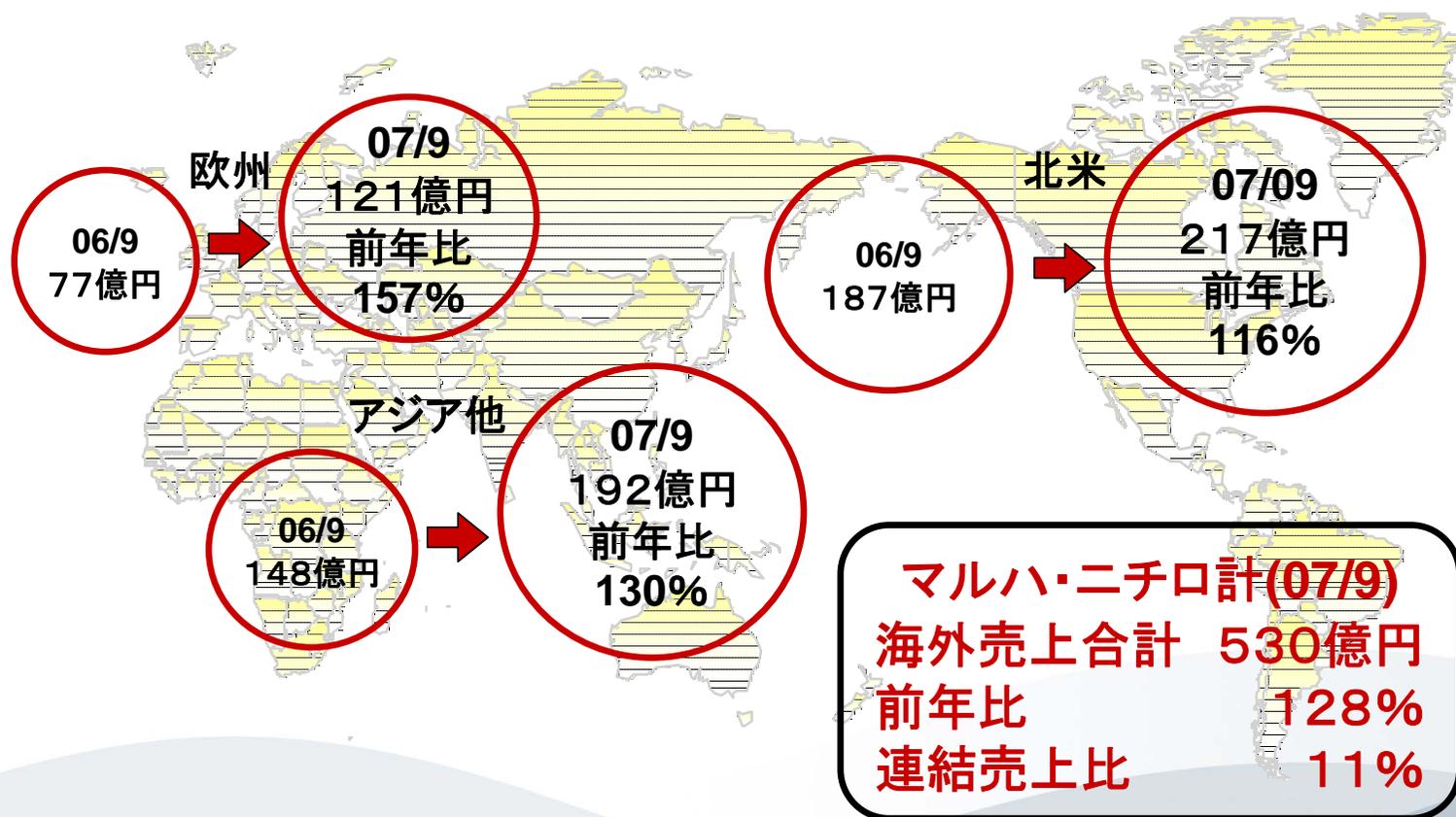
4-6. 夕張工場増設



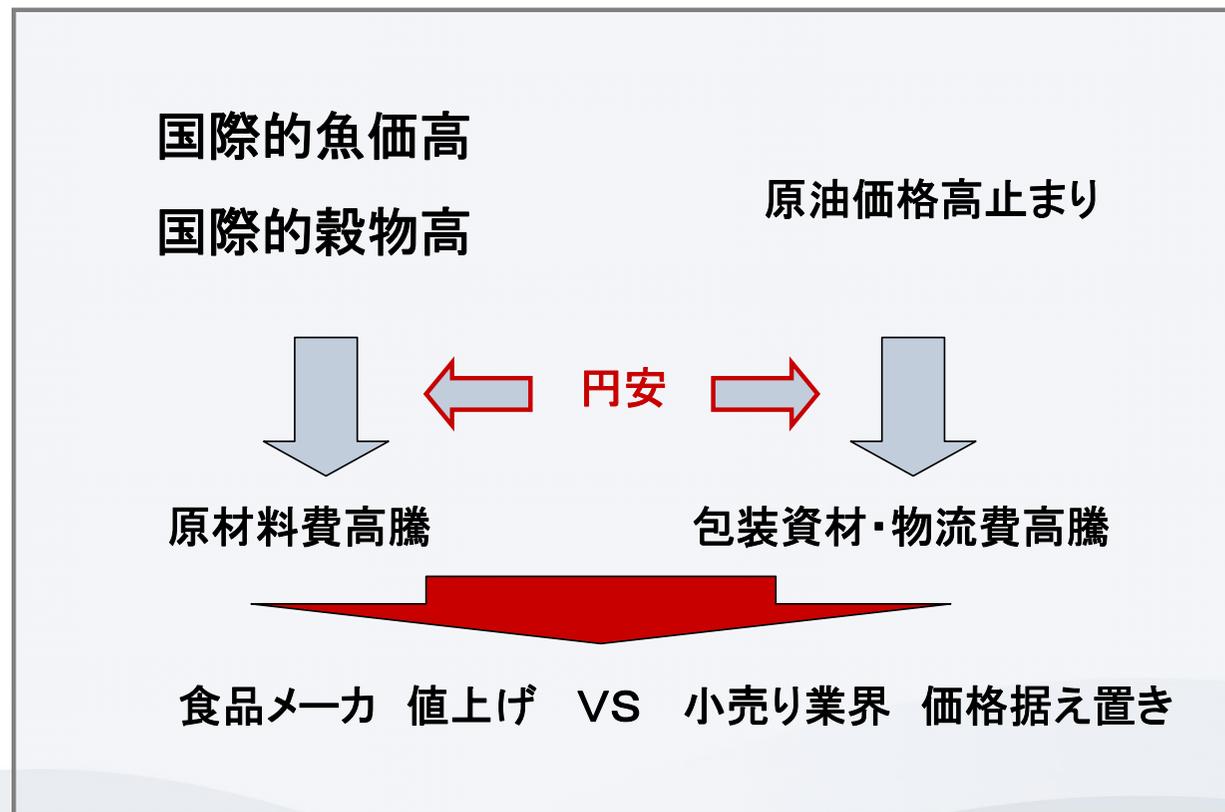
所在地	: 北海道夕張市沼の沢510番11
従業員数	: 206名（増設前136名）
施設	: 敷地面積25,363㎡ 建物延床面積7,078㎡ （増設前6,224㎡）
生産品目	: グラタン類、調理フライ類、 中華まんじゅう 他
出荷金額	: H18年度25億円 H21年度目標40億円
生産能力	: 8,000トン （増設前 5,000トン）



5. 海外売上高(マルハ+ニチロ)



6. 事業環境



7. 通期営業利益目標の修正要因



水産セグメント

- アフリカ合弁エビ事業、事業改善遅
- 北米事業、操業コスト上昇等
- 水産商事輸入コストアップ（円安・魚価高）
- 荷受事業
- 戦略販売原料高
- ニチロ水産部門（下期）

食品セグメント

- 加工食品等原料高
- アジア加工事業原料高
- ニチロ加工食品部門（下期）

保管・物流セグメント

新規事業遅れ等
全社

△ 27 億円

△ 7 億円

△ 9 億円

△ 8 億円

△ 3 億円

△ 3 億円

+ 3 億円

+ 3 億円

△ 9 億円

△ 4 億円

+ 16 億円

△ 4 億円

△ 20 億円

+ 14 億円

総 計 **△ 35 億円**

8. 通期見通し（セグメント別）



（単位：億円）

		売上高			営業利益		
		当初計画	今回計画	差異	当初計画	今回計画	差異
水産セグメント	マルハ(通期)	5,640	5,525	-115	102	72	-30
	ニチロ(下期)		350	350		3	3
	計	5,640	5,875	235	102	75	-27
食品セグメント	マルハ(通期)	1,660	1,615	-45	61	48	-13
	ニチロ(下期)		750	750		16	16
	計	1,660	2,365	705	61	64	3
保管物流セグメント	マルハ(通期)	150	145	-5	17	12	-5
	ニチロ(下期)		4	4		1	1
	計	150	149	-1	17	13	-4
その他事業	マルハ(通期)	50	51	1	26	8	-18
	ニチロ(下期)		60	60		-2	-2
	計	50	111	61	26	6	-20
全社	(通期)			0	-47	-33	14
合計		7,500	8,500	1,000	159	125	-34
マルハ合計		7,500	7,336	-164	159	107	-52
ニチロ合計		0	1,164	1,164	0	18	18

9. 通期予想

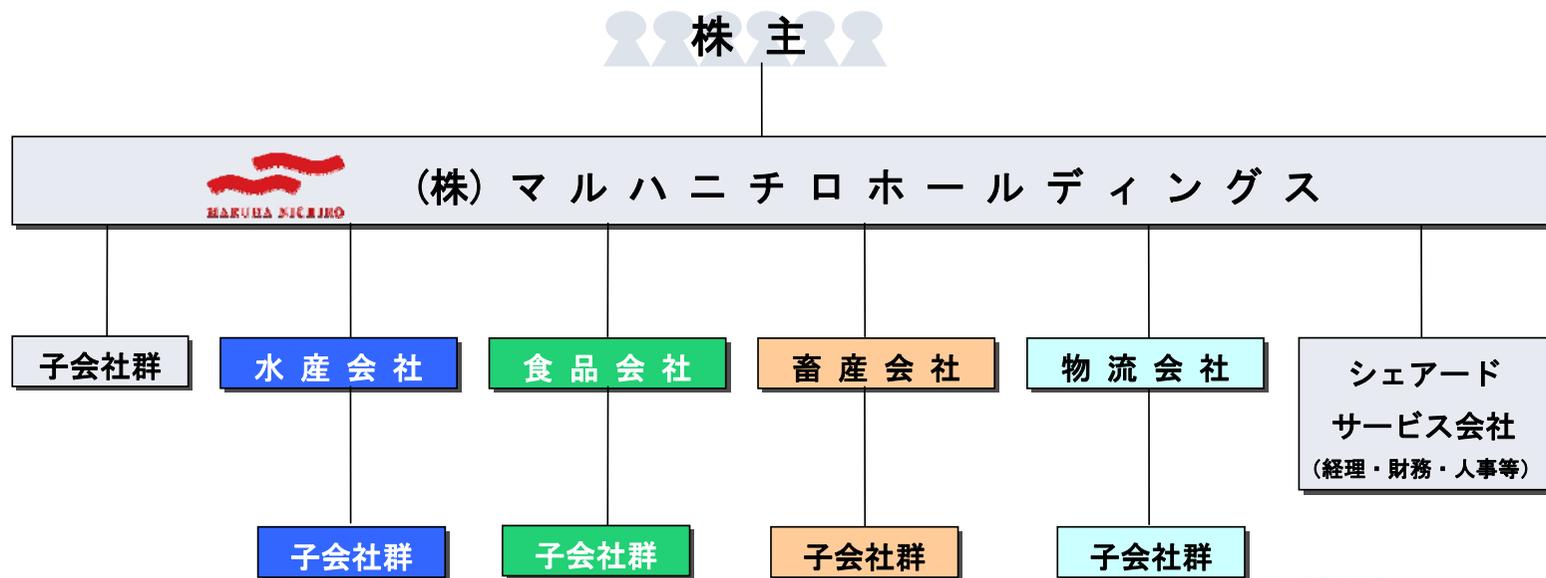


	08年3月期	前年比
売上高	8,500億円	115%
営業利益	125億円	103%
経常利益	90億円	81%
当期純利益	5億円	31%

10. 事業会社再編



2008年4月1日、事業別に子会社再編に向けて作業中



同時に本社機能、同地区所在の支社・支店・営業所を統合を予定

世界に美味しいしあわせを

当資料に記載されております計画や見通し、戦略など歴史的事実でないものは将来の業績に関する見通しであり、これらは現時点で入手できる情報から得られた判断に基づいております。実際の業績は様々な重要要素により、これらの見通しとは異なる結果をもたらしうることをご承知おきください。また、本資料は著作権やその他本書類にかかる一切の権利は株式会社マルハニチロホールディングスに属します



MARUHA NICHIRO



株式会社マルハニチロホールディングス
2008年3月期中間連結決算説明

2007年11月19日

1. グループ企業の状況



	07年9月末			07年3月期			増 減		
	国内	海外	合計	国内	海外	合計	国内	海外	合計
関係会社									
子 会 社	66	35	101	67	38	105	△ 1	△ 3	△ 4
関 連 会 社	20	43	63	20	44	64		△ 1	△ 1
関 係 会 社 合 計	86	78	164	87	82	169	△ 1	△ 4	△ 5
連結の範囲									
親 会 社	1		1	1		1			
連結対象子会社	55	21	76	56	22	78	△ 1	△ 1	△ 2
持分対象子会社		2	2		2	2			
持分対象関連会社	5	7	12	5	7	12			
連結グループ合計	61	30	91	62	31	93	△ 1	△ 1	△ 2

2. 2008年3月期中間連結損益計算書



単位：億円

	2007年9月期	売上高比	2006年9月期	売上高比	前期比較
売上高	3,636	100.0%	3,651	100.0%	△ 15
売上原価	3,268	89.9%	3,246	88.9%	22
売上総利益	368	10.1%	405	11.1%	△ 37
販売費・一般管理費	317	8.7%	341	9.4%	△ 24
営業利益	51	1.4%	64	1.7%	△ 13
営業外収益	24		24		0
営業外費用	28		26		2
経常利益	47	1.3%	62	1.7%	△ 15
特別利益	12		15		△ 3
特別損失	26		27		△ 1
税金等調整前中間純利益	33	0.9%	50	1.4%	△ 17
法人税等	20		33		△ 13
少数株主利益	5		5		0
中間純利益	8	0.2%	12	0.3%	△ 4

3. 2008年3月中間期のユニット別実績



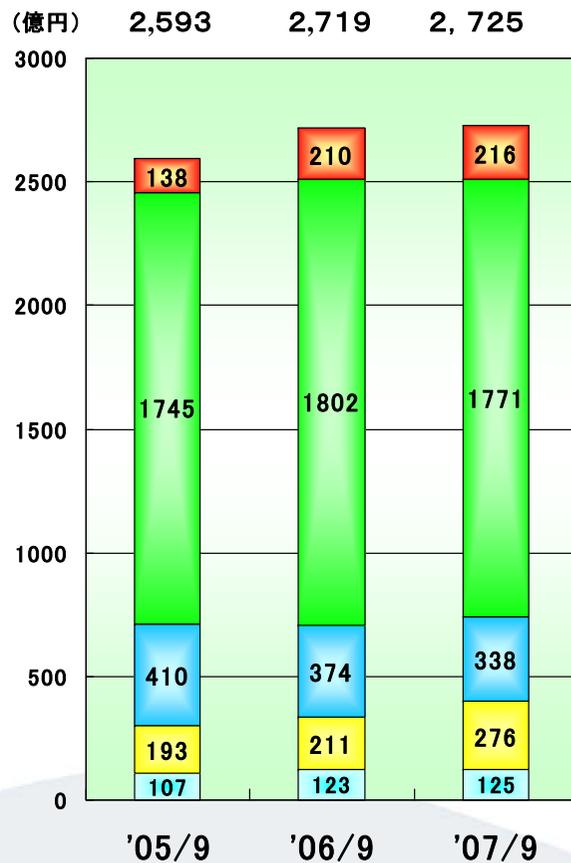
単位：億円

	売 上 高			営 業 利 益		
	2007年9月期	前 期	増 減	2007年9月期	前 期	増 減
漁業・養殖ユニット	125	123	2	3	3	0
北米ユニット	276	211	65	13	18	△ 5
水産商事ユニット	338	374	△ 36	13	18	△ 5
荷受ユニット	1,771	1,802	△ 31	6	4	2
戦略販売ユニット	216	210	6	1	1	0
水産セグメント計	2,725	2,719	6	36	43	△ 7
加工食品ユニット	410	459	△ 49	12	14	△ 2
畜産ユニット	165	147	18	3	3	0
化成品ユニット	60	58	2	6	6	0
アジア・オセアニアユニット	181	141	40	4	4	0
食品セグメント計	815	804	11	25	26	△ 1
保管・物流セグメント	69	73	△ 4	5	7	△ 2
その他	26	54	△ 28	4	5	△ 1
全社				△ 19	△ 18	△ 1
合計	3,636	3,651	△ 15	51	64	△ 13

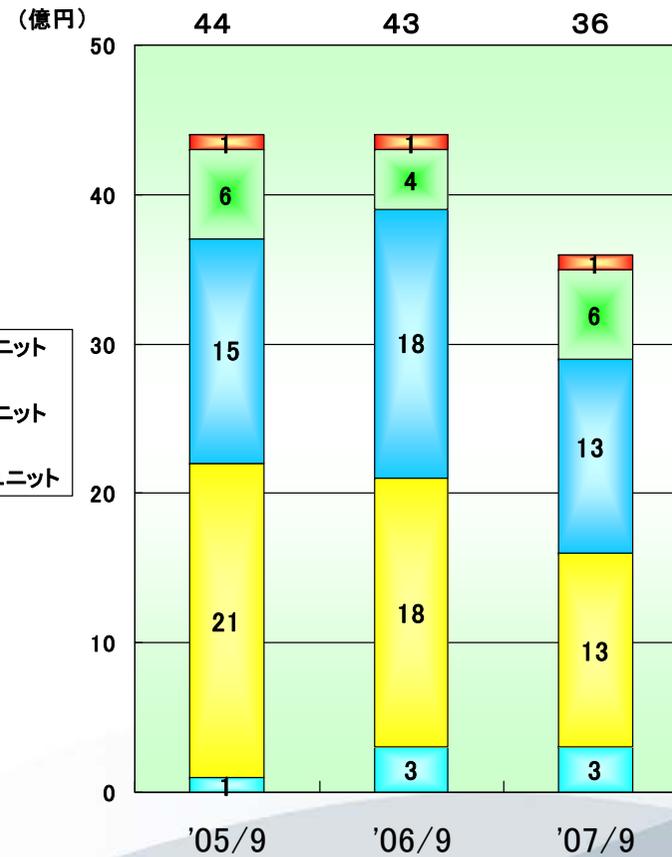
4. 水産セグメント



売上高



営業利益

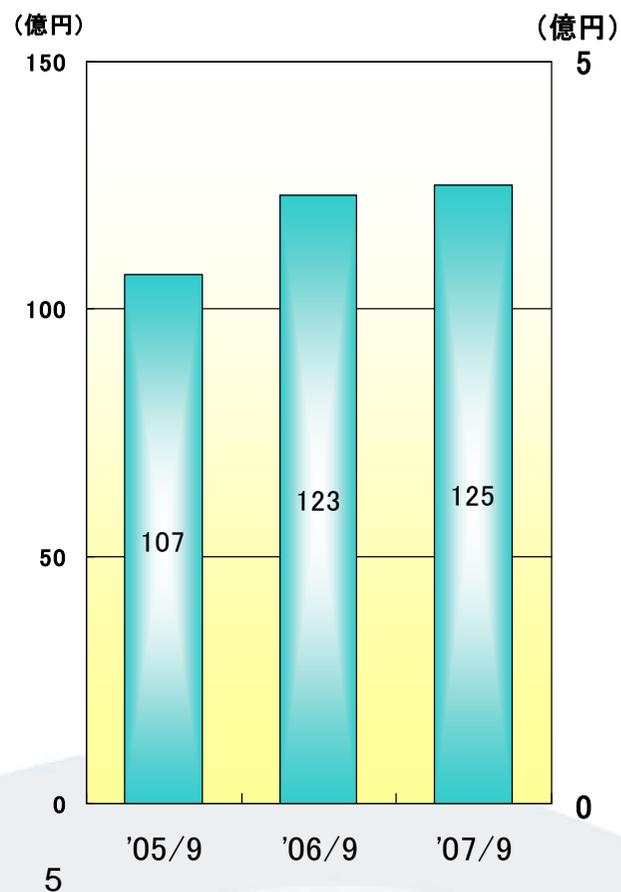


- 戦略販売ユニット
- 荷受ユニット
- 水産商事ユニット
- 北米ユニット
- 漁業・養殖ユニット

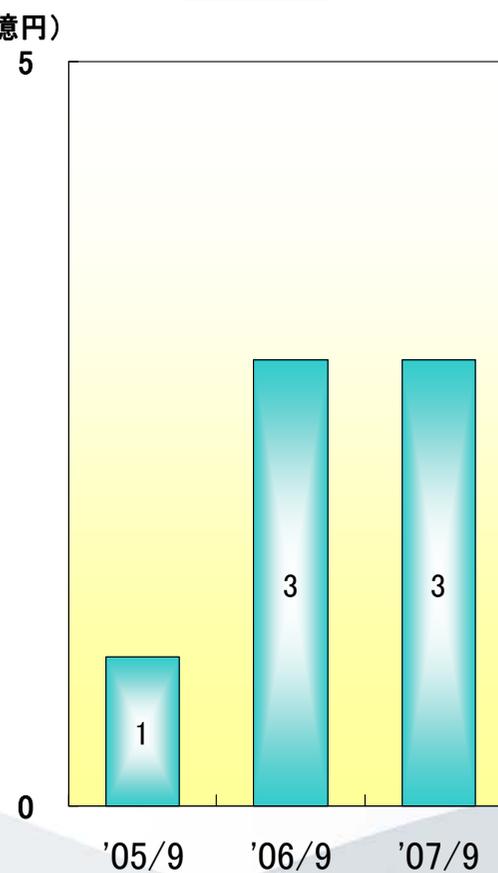
4-1. 漁業・養殖ユニット



売上高



営業利益



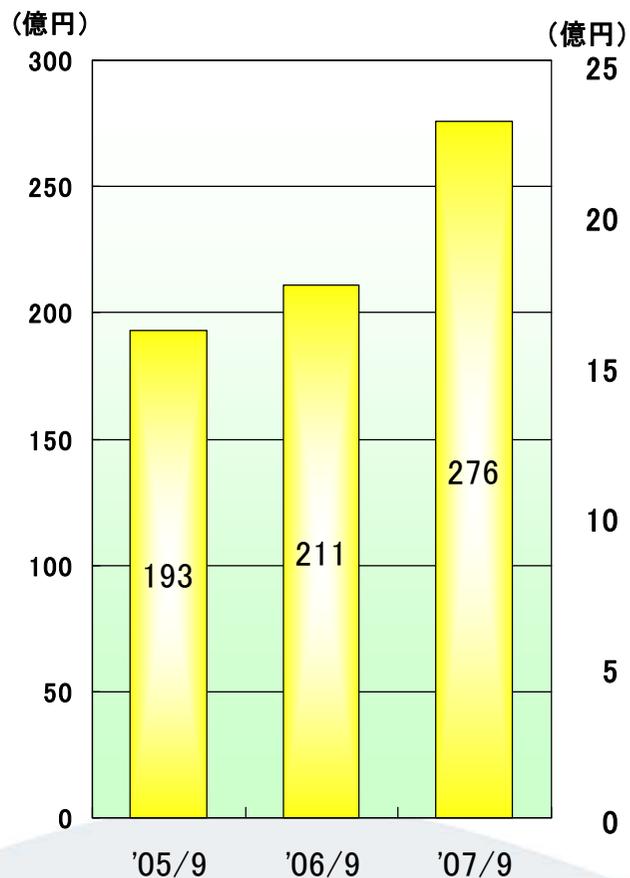
トピックス

1. 養殖クロマグロの出荷は計画通りの進捗
2. 海外合弁えび事業
リストラにより漁獲効率及び漁業収支は改善
燃油の更なる高騰、えび市況低迷および養殖ブラックタイガー成長鈍化で収益回復は遅れ

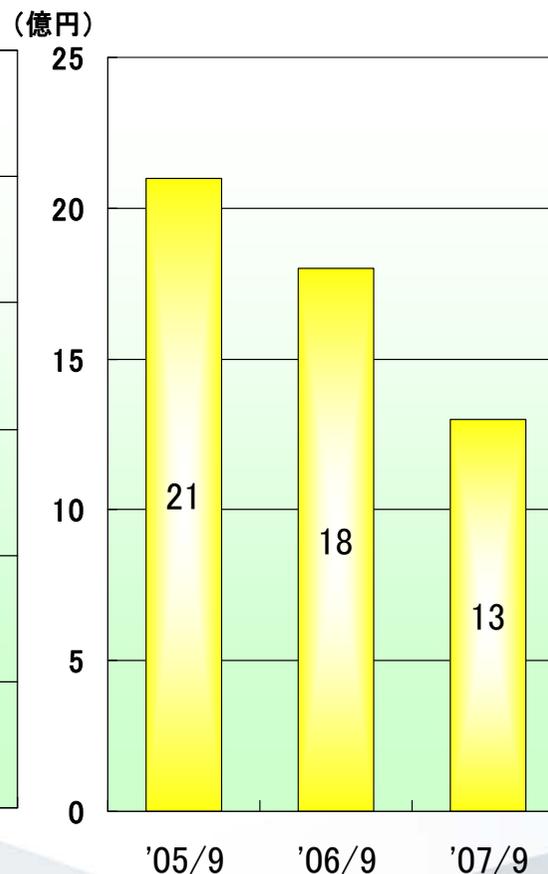
4-2. 北米ユニット



売上高



営業利益



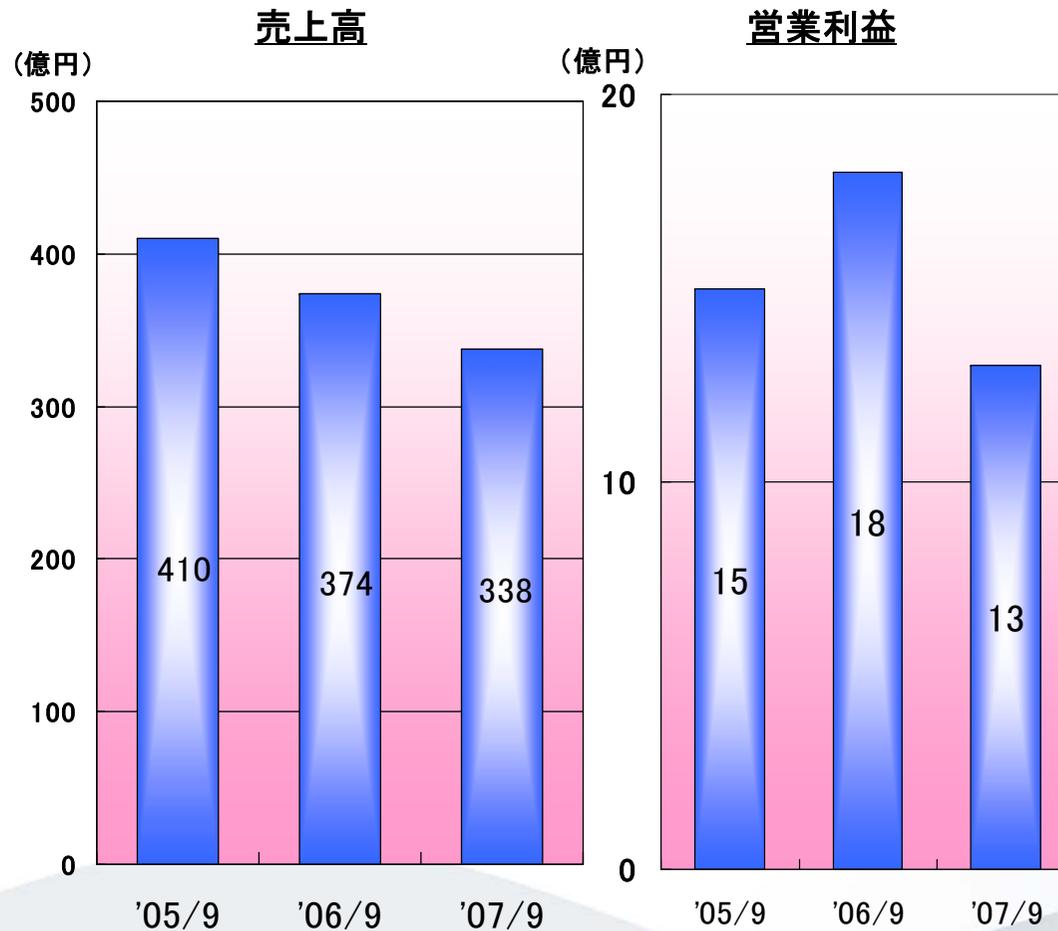
トピックス

1. すりみ・助宗フィレー
需要堅調・高値維持
2. 助子の相場低迷等による
収益悪化
3. 日本国内すりみ価格推移
(米国FA級 円/Kg)

小口需要家渡し価格

04.9	05.3	05.9	06.3	06.9	07.3	07.9
350	390	440	440	450	450	450

4-3. 水産商事ユニット



トピックス

1. えび・チリ養殖サケの市況低迷による販売不振
2. 蓄養マグロの積極取扱いによる売上増
3. 世界的な水産物需要の高まりと円安により買い付け相場上昇

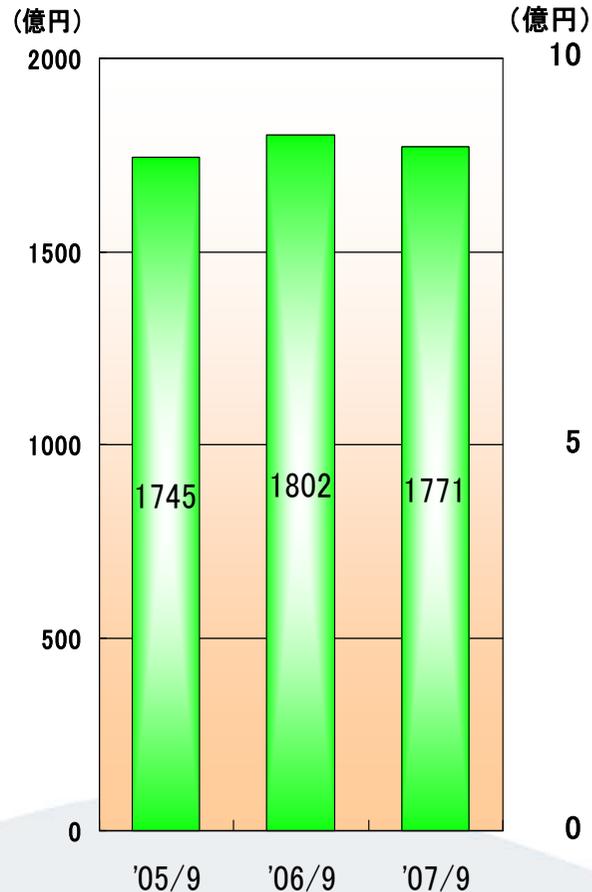
マルハの取扱数量及び魚価(参考)

	07/09	06/09	増減
数量 (千トン)	99	103	△ 4
魚価 (円/Kg)	762	742	+ 20

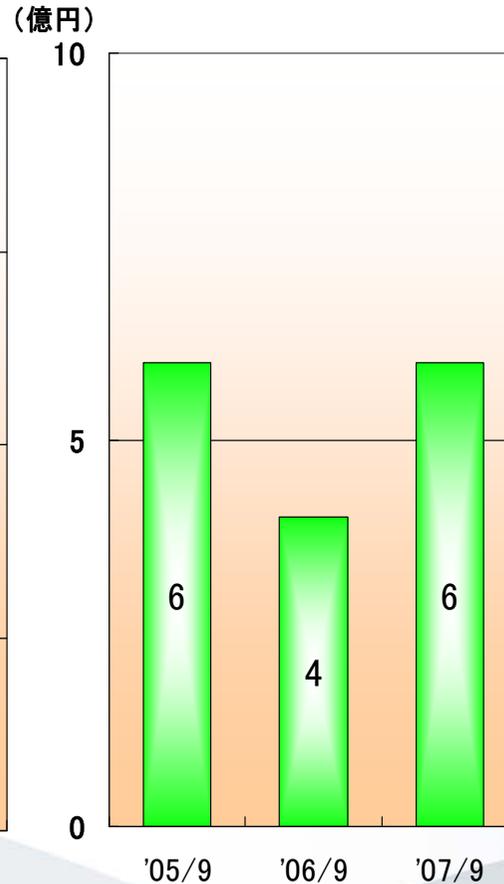
4-4. 荷受ユニット



売上高



営業利益



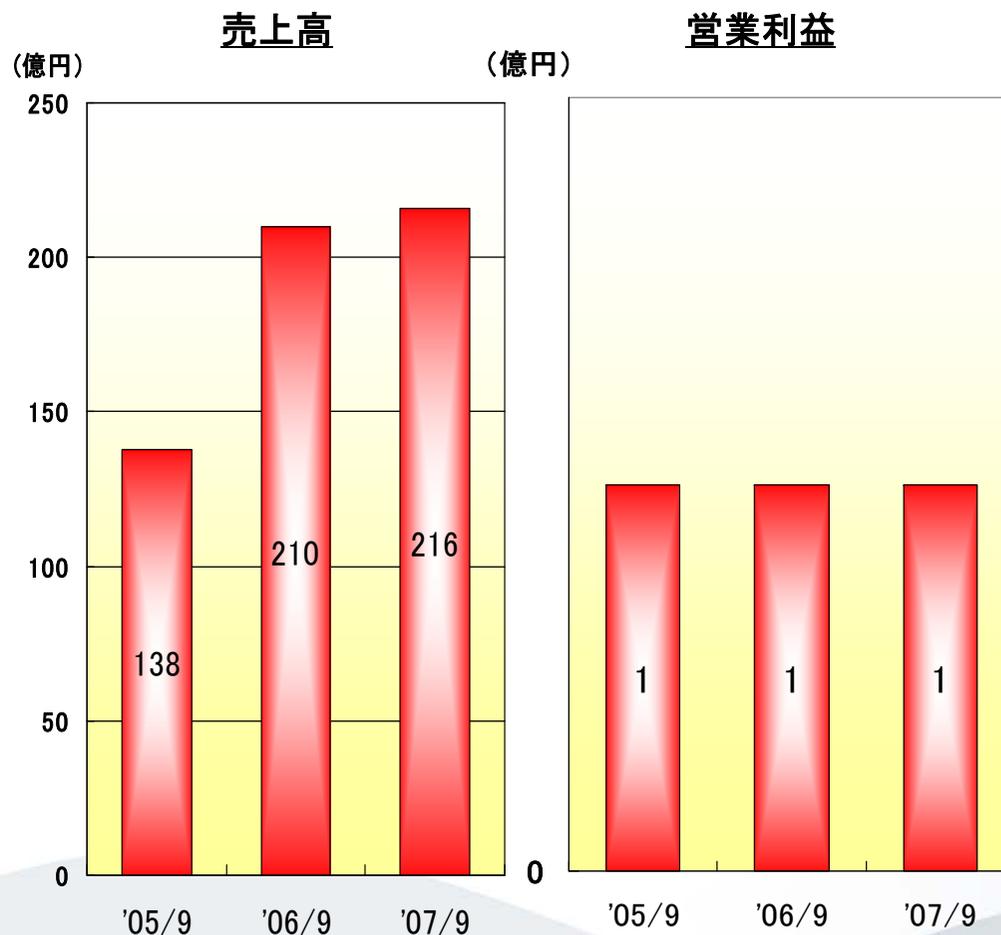
トピックス

1. 取扱数量(千トン)・単価(円/Kg)

		4月～9月		
		2006年	2007年	差異
鮮魚	数量	90	90	±0%
	単価	794	776	△2%
冷凍	数量	83	76	△8%
	単価	812	824	+1%
魚介類	数量総計	230	218	△5%
	平均単価	766	767	±0%

- 鮮魚の販売不振
- 冷凍魚の搬入量減少・単価上昇
- 効率化・経費削減努力継続
- 中国加工品に対する不信増長

4-5. 戦略販売ユニット



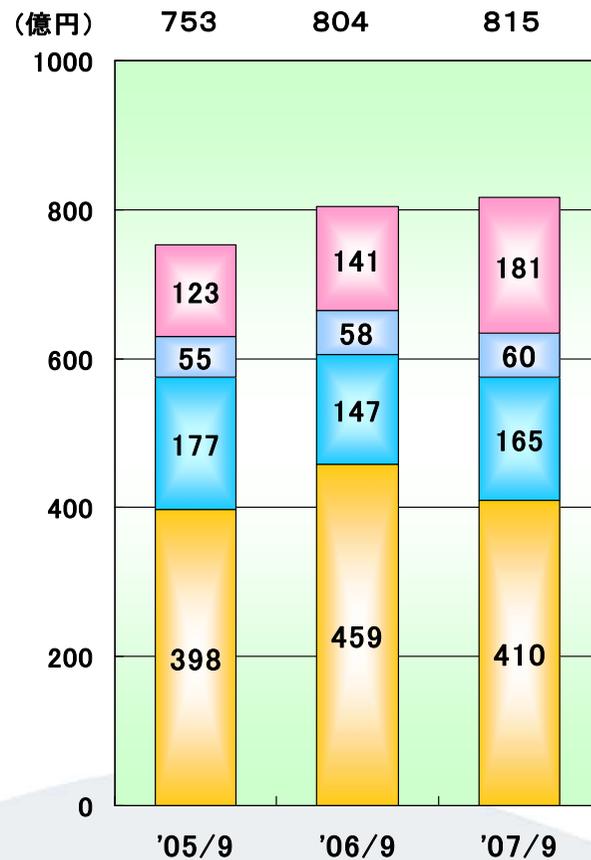
トピックス

1. 積極的な販売による
関西地区の新規顧客獲得
などで増収
2. マグロなど加工用原料価格
高騰による加工コスト増
3. うなぎ蒲焼等の中国加工品
に対する安全・安心の不信
から消費低迷

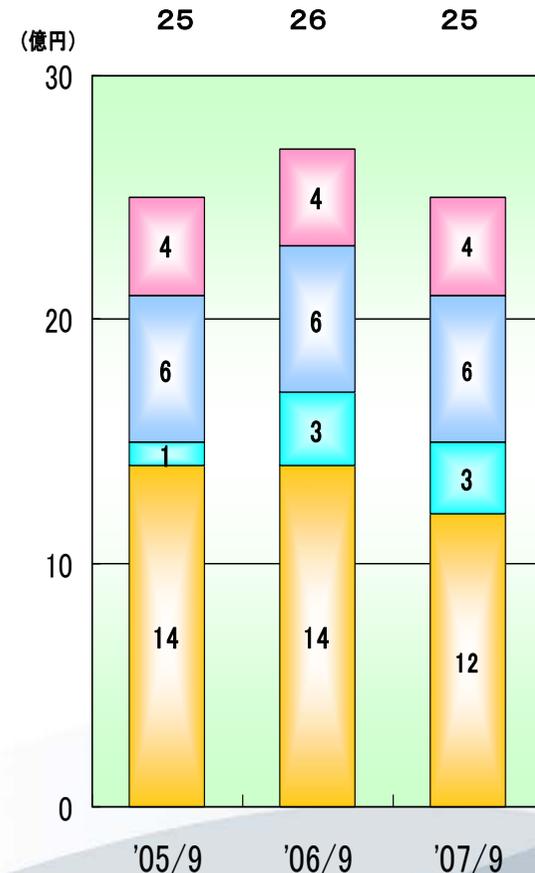
5. 食品セグメント



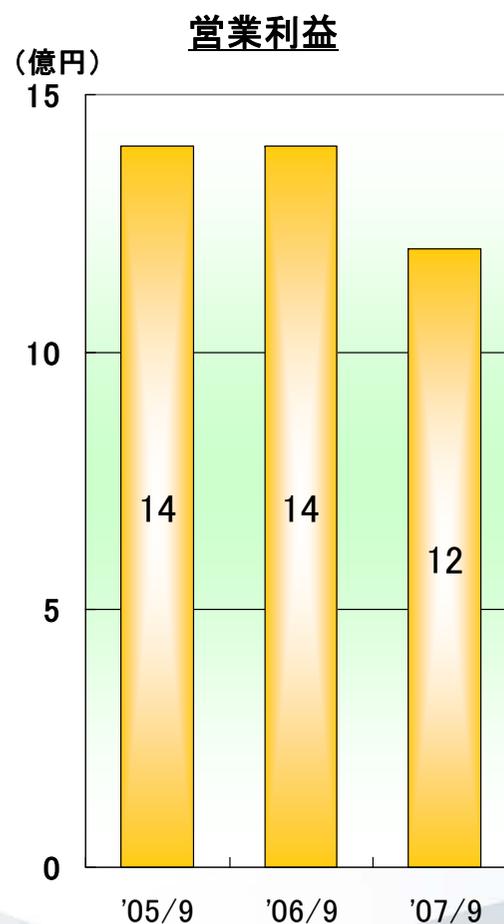
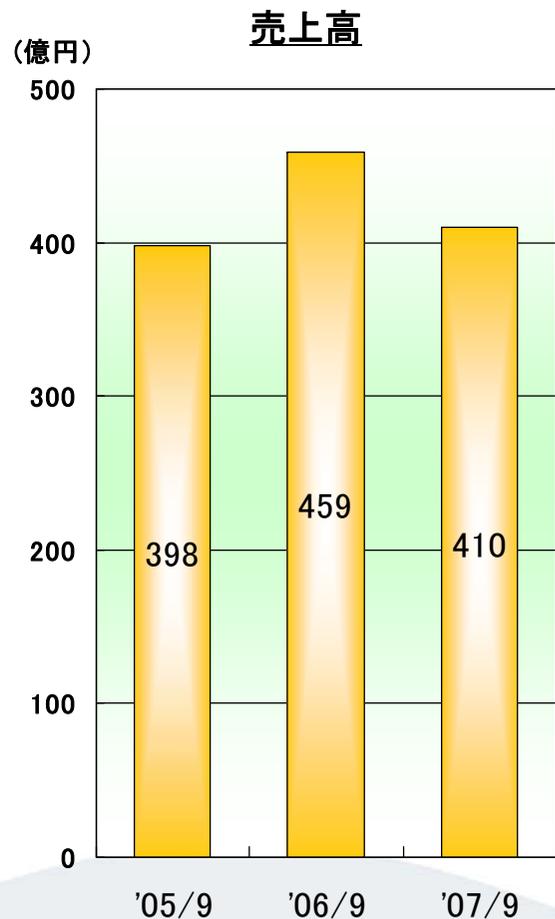
売上高



営業利益



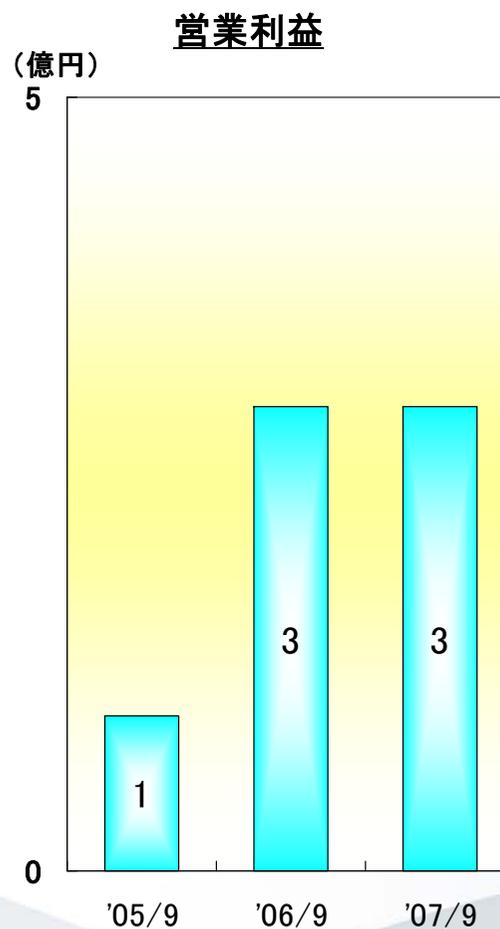
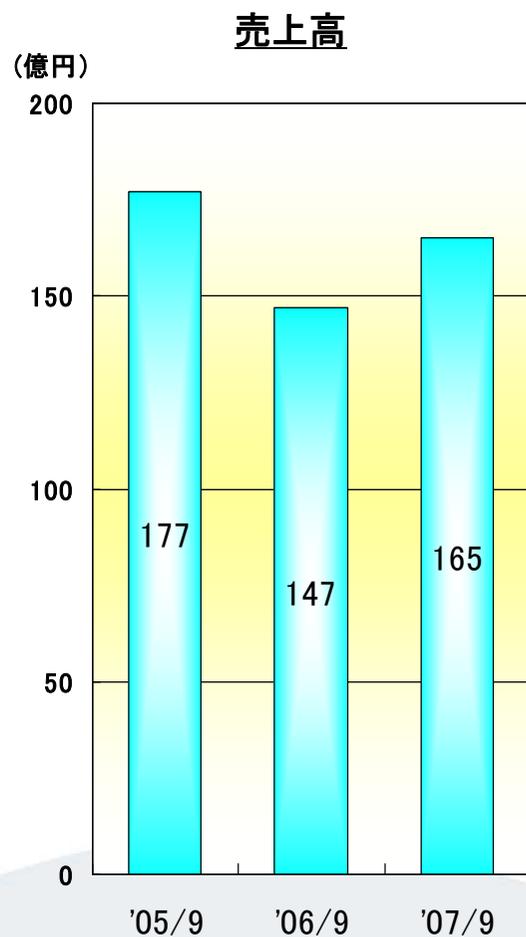
5-1. 加工食品ユニット



トピックス

1. カップゼリー
販促効果で増収、
下関工場稼動も順調
2. 冷凍食品
アイテム絞込みと効率
販売で収支改善
3. アイシア(ペットフード)
猫用ウェット缶詰原料
(鰹・鮪)高騰により
収支悪化
4. すべての原料高騰

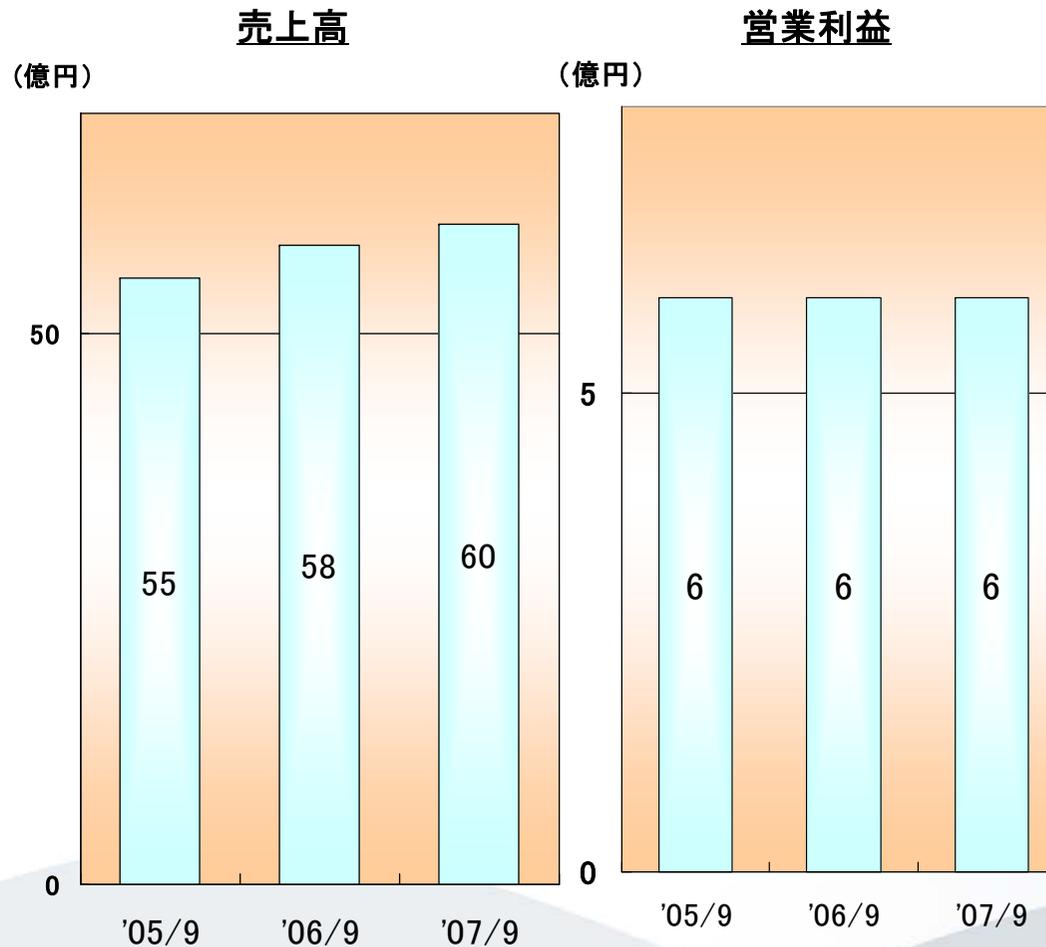
5-2. 畜産ユニット



トピックス

1. 米国産チルド・冷凍
ポーク販売は順調
2. ミール相場堅調
取り扱い増により増収

5-3. 化成品ユニット



トピックス

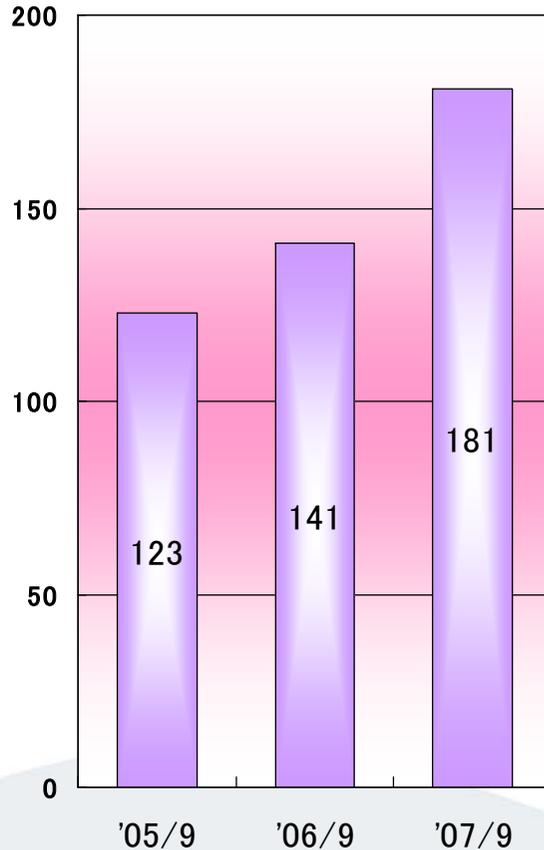
1. スクワレン等の化成品販売順調
2. 原料価格高騰
3. 乾燥食品FDえび売上げ低迷
4. 調味料新製品販売増

5-4. アジア・オセアニアユニット



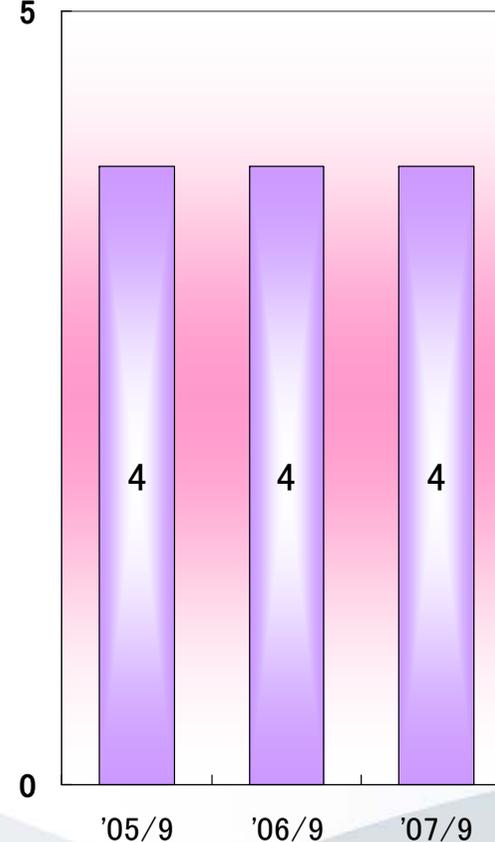
売上高

(億円)



営業利益

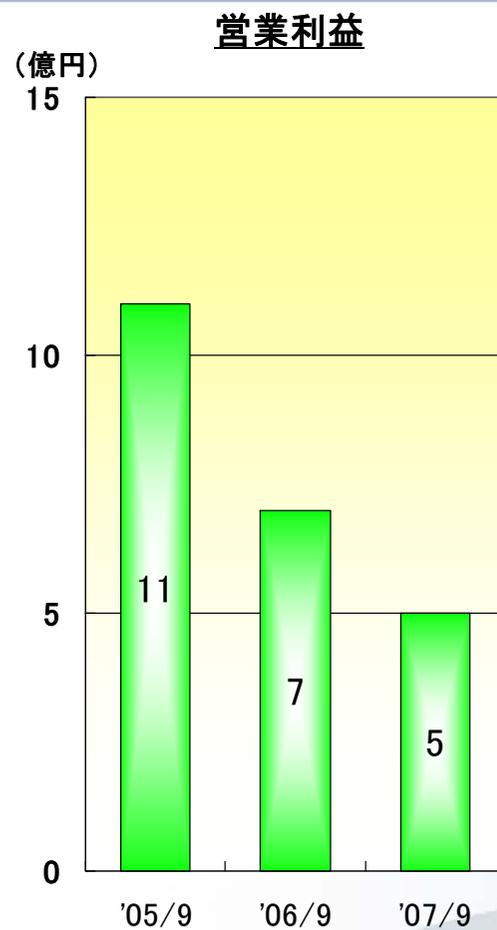
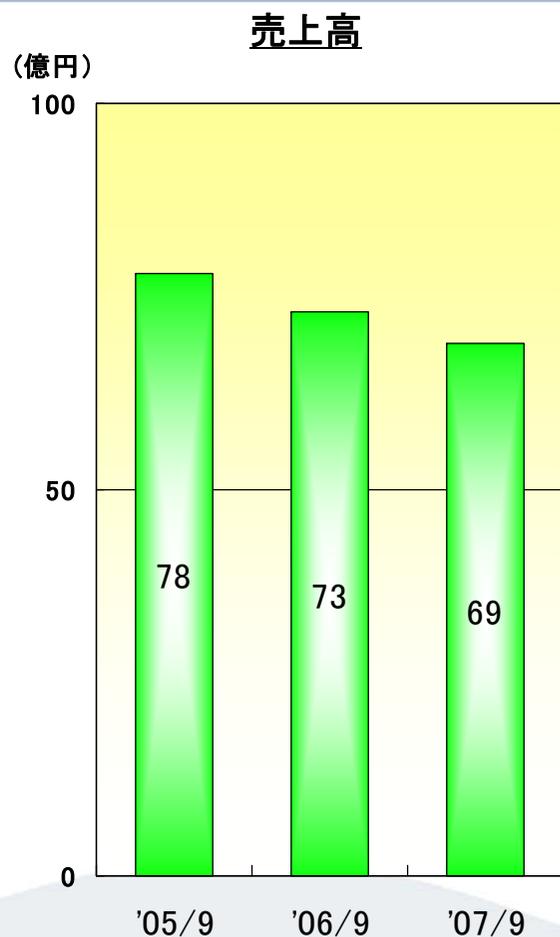
(億円)



トピックス

1. 加工原料高騰のため生産コスト上昇
2. ツナ原料不足と高騰のためツナ缶詰工場の生産コスト大幅アップ
3. 冷凍新工場稼動により売り上げ増

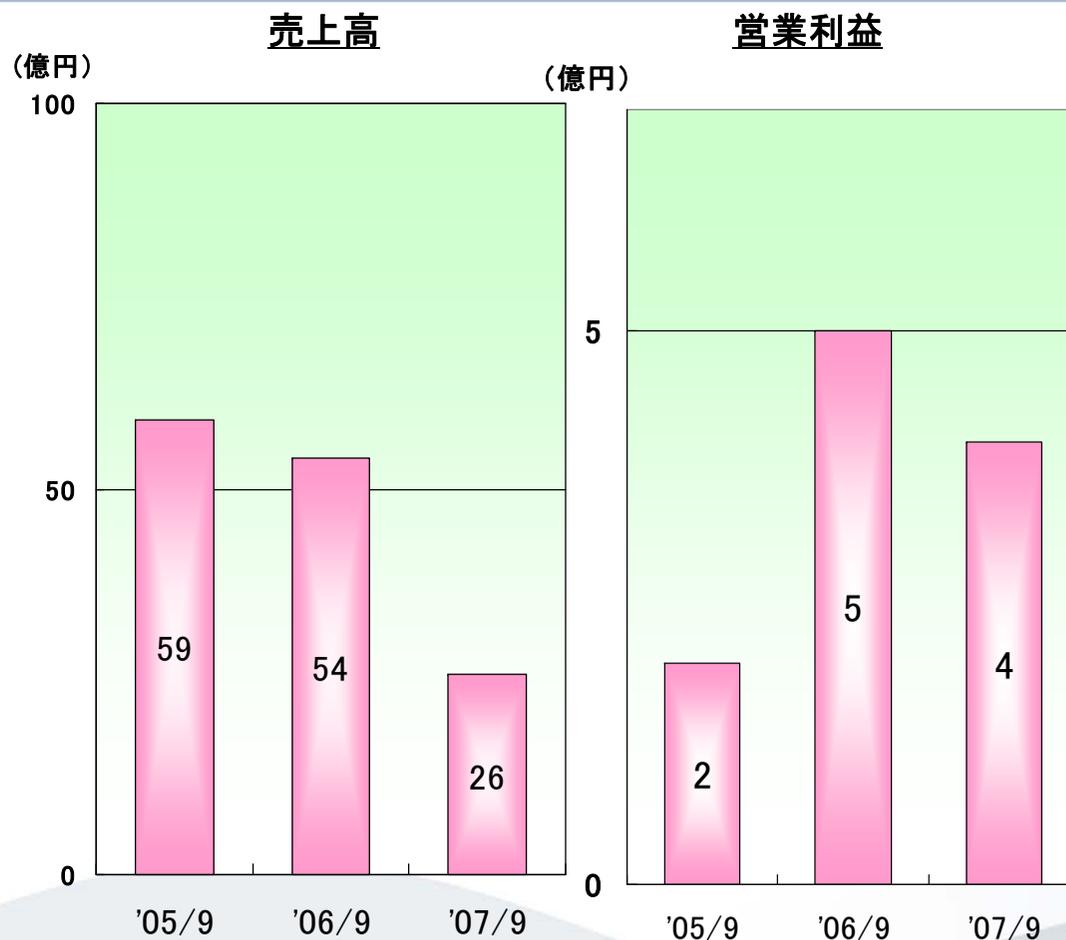
6. 保管・物流セグメント



トピックス

1. 輸入貨物減少による保管需要減
2. 一部貨物の減少による保管効率悪化
3. 冷凍貨物保管期間長期化と嵩高貨物の増加による収益率低迷
4. 税制改正による減価償却費増加

7. その他事業



トピックス

レストラン事業等の譲渡
(07年9月)
影響額(減少)
売上 26億円
営業利益 1億円

8. 上期営業利益の減益要因（計画比）



水産セグメント

- アフリカ合弁エビ事業、事業改善遅れ等
- 北米事業、操業コスト上昇等
- 水産商事輸入コストアップ（円安・魚価高）
- 荷受事業
- 戦略販売原料高

△ 22 億円

△ 4 億円

△ 9 億円

△ 5 億円

△ 3 億円

△ 1 億円

食品セグメント

- 加工食品等原料高
- アジア加工事業原料高他

△ 5 億円

△ 3 億円

△ 2 億円

保管・物流セグメント

新規事業遅れ等

全社

△ 3 億円

△ 4 億円

+ 5 億円

総 計 △ 29 億円

9. 貸借対照表



(単位: 億円)

	07年9月	07年3月	増減		07年9月	07年3月	増減
流動資産	2,102	1,957	145	流動負債	1,993	1,826	167
現預金	131	149	△ 18	仕入債務	331	292	39
売上債権	776	736	40	短期借入金	1,394	1,329	65
有価証券	67	77	△ 10	その他	268	205	63
たな卸資産	947	853	94	固定負債	1,388	1,396	△ 8
短期貸付金	24	16	8	長期借入金	1,207	1,215	△ 8
繰延税金資産	22	19	3	その他	181	181	0
貸倒引当金	△ 20	△ 22	2	負債合計	3,382	3,222	160
その他	156	129	27	資本金	310	310	0
固定資産	1,898	1,886	12	剰余金	175	179	△ 4
有形固定資産	1,050	1,026	24	自己株式	△ 13	△ 13	0
無形固定資産	129	124	5	株主資本	473	476	△ 3
(内 のれん)	60	59	1	評価・換算差額等	△ 0	8	△ 8
投資その他資産	719	735	△ 16	少数株主持分	145	136	9
				純資産合計	618	621	△ 3
資産合計	3,999	3,843	157	負債純資産合計	3,999	3,843	157

マルハニチロホールディングス

下期・通期の予想について

10. 2008年3月期予想



	08年3月期	前年比
売上高	8,500億円	115%
営業利益	125億円	103%
経常利益	90億円	81%
当期純利益	5億円	31%

07年3月期対比のポイント

1. 水産セグメントの増収(+ 308億円)
2. 食品セグメントの増収(+ 853億円)

11. 2008年3月期セグメント別下期予想



(単位: 億円)

		下期売上高			下期営業利益		
		当初計画	今回計画	差異	当初計画	今回計画	差異
水産セグメント	マルハ(下期)	2,875	2,800	-75	44	36	-8
	ニチロ(下期)		350	350		3	3
	計	2,875	3,150	275	44	39	-5
食品セグメント	マルハ(下期)	825	800	-25	31	23	-8
	ニチロ(下期)		750	750		16	16
	計	825	1,550	725	31	39	8
保管物流セグメント	マルハ(下期)	75	75	0	9	7	-2
	ニチロ(下期)		4	4		1	1
	計	75	79	4	9	8	-1
その他事業	マルハ(下期)	25	25	0	19	4	-15
	ニチロ(下期)		60	60		-2	-2
	計	25	85	60	19	2	-17
全社	(下期)			0	-23	-14	9
合計		3,800	4,864	1,064	80	74	-6
マルハ下期合計		3,800	3,700	-100	80	56	-24
ニチロ下期合計		0	1,164	1,164	0	18	18

12. 水産セグメント下期の方針



ユニット	環 境	下 期 方 針
漁業・養殖	<ul style="list-style-type: none"> ・養殖はマグロ需要も堅調で概ね良好 ・漁業は鯉漁業収支好転、マグロ漁業価格低迷 	効率操業・航海により燃油節約 海外えびの価格優位市場への販売
北米事業	<ul style="list-style-type: none"> ・Bシーズンは荒天等で不漁（漁獲枠未達） ・陸上工場の稼働低下によりすりみ減産 ・工場多機能化（フィーレ生産増）による貢献 	価格優位性のあるフィーレ生産へのシフト
水産商事	<ul style="list-style-type: none"> ・水産原料の産地インフレ、消費地デフレ環境 	国内外の需給を見極めた仕入れ・販売、生産地加工による商品の差別化と仕入れの小口化・多頻度化を実施
荷受	<ul style="list-style-type: none"> ・食品業界全体の製品値上げにより、過度に圧縮されている水産物市況の適正化期待 	最大需要期の年末に向けて、生産者・販売先との緊密な関係を維持して機会ロスを回避
戦略販売	<ul style="list-style-type: none"> ・水産原料の産地インフレ、消費地デフレ環境 	顧客ニーズに合った高付加価値商品の提供
ニチロ水産	<ul style="list-style-type: none"> ・水産原料の産地インフレ、消費地デフレ環境 	マルハの北米事業、水産商事との連携強化
水産セグメント 下期営業減益予想額		計画比△5億円

13. 食品セグメント、保管物流セグメント下期の方針



ユニット	環 境	下 期 方 針
加工食品	<ul style="list-style-type: none"> 原料価格上昇 資材(空缶・ダンボール・包材)の値上げ 競合他社との価格競争の激化 	<ul style="list-style-type: none"> 実質値上げを目指す 自社工場の安定稼働と新商品の投入 ドライキャットフードの販売開始
畜産	<ul style="list-style-type: none"> 豚肉の国内需要堅調 ミール需要堅調 	<ul style="list-style-type: none"> 国産牛肉・鶏肉の販売強化、自社加工による収益率の向上
化成品	<ul style="list-style-type: none"> ヒアルロン酸出荷量回復 原料高騰継続 	<ul style="list-style-type: none"> 国内外の需給を見極めた仕入れ・販売、生産地加工による商品の差別化と仕入れの小口化・多頻度化を実施
アジア・オセアニア	<ul style="list-style-type: none"> 鰹マグロの世界的不漁による原料不足継続 	<ul style="list-style-type: none"> 原料の安定確保 中国生産工場の品質管理強化による中国製品不振の払拭に努める
ニチロ食品	<ul style="list-style-type: none"> 生産や最安値修正による冷凍野菜環境改善 中国バッシング圧力の軽減 	<ul style="list-style-type: none"> 直営工場生産の重点商品の拡売を進めると共に中国調理冷凍食品の積極導入
食品セグメント 下期営業減益予想額		計画比+8億円
保管・物流セグメント 下期営業減益予想額		計画比△1億円
その他、全社、新規事業等下期営業減益予想額		計画比△8億円
		総計 △6億円

14. 2008年3月期ユニット別予想



(単位:億円)

	売 上 高					営 業 利 益				
	08/03予想			07/03 実 績	増 減	08/03予想			07/03 実 績	増 減
	上期	下期	年間			上期	下期	年間		
漁業・養殖ユニット	125	140	265	254	11	3	7	10	13	△ 3
北米ユニット	276	230	506	414	92	13	2	15	16	△ 1
水産商事ユニット	338	310	648	729	△ 81	13	12	25	30	△ 5
荷受ユニット	1,771	1,900	3,671	3,733	△ 62	6	14	20	17	3
戦略販売ユニット	216	220	436	432	4	1	1	2	2	0
ニチロ水産		350	350		350		3	3		3
水産セグメント計	2,725	3,150	5,875	5,561	314	36	39	75	77	△ 2
加工食品ユニット	410	400	810	840	△ 30	12	7	19	24	△ 5
畜産ユニット	165	150	315	304	11	3	4	7	6	1
化成品ユニット	60	65	125	120	5	6	5	11	11	0
アジア・オセアニアユニット	181	185	366	323	43	4	7	11	11	0
ニチロ食品		750	750		750		16	16		16
食品セグメント計	815	1,550	2,365	1,586	779	25	39	64	52	12
マルハ保管物流	69	75	145	146	△ 1	5	7	12	15	△ 3
ニチロ保管物流		4	4		4		1	1		1
保管物流セグメント計	69	79	149	146	3	5	8	13	15	△ 2
マルハその他	26	25	51	82	△ 31	4	4	8	8	0
ニチロその他		60	60		60		△ 2	△ 2		△ 2
その他計	26	85	111	82	29	4	2	6	8	△ 2
全社						△ 19	△ 14	△ 33	△ 32	△ 1
合計	3,635	4,864	8,500	7,375	1,125	51	74	125	121	5

15. 特別損益について(中間期／通期)



特別利益 (通期 13億円)

中間期 12 億円	主な内容 <ul style="list-style-type: none"> ■ 訴訟和解金収入 ■ 貸倒引当金戻入 	5 億円
下期 1 億円		2 億円

特別損失 (通期 50億円)

中間期 △26 億円	主な内容 <ul style="list-style-type: none"> ■ 過年度販売促進費 ■ 減損損失 (広島物流センター等) ■ 固定資産処分損 (下関建物解体等) ■ 下請法勧告返還金 	△ 7 億円
下期 △24 億円		主な内容 <ul style="list-style-type: none"> ■ 統合費用 ■ 固定資産処分損等
		△ 2 億円
		△ 2 億円
		△16 億円
		△ 8 億円

(参考資料1) ユニット別売上高・営業利益推移



(単位:億円)

	売上高				営業利益			
	08/03 予想	07/03 実績	06/03 実績	05/03 実績	08/03 予想	07/03 実績	06/03 実績	05/03 実績
漁業・養殖ユニット	265	254	208	216	10	13	△ 3	6
北米ユニット	506	414	397	369	15	16	33	13
水産商事ユニット	648	729	816	828	25	30	21	38
荷受ユニット	3,671	3,733	3,648	3,670	20	17	16	18
戦略販売ユニット	436	432	348	281	2	2	5	3
水産セグメント計	5,525	5,561	5,417	5,364	72	77	72	78
加工食品ユニット	810	840	778	771	19	24	19	30
畜産ユニット	315	304	324	369	7	6	4	4
化成品ユニット	125	120	117	115	11	11	10	10
アジア・オセアニアユニット	366	323	285	266	11	11	10	12
食品セグメント計	1,615	1,586	1,504	1,521	48	52	43	56
保管物流セグメント	145	146	153	150	13	15	22	16
その他	51	82	119	437	8	8	7	15
全社					△ 33	△ 32	△ 37	△ 31
ニチロ水産	350				3			
ニチロ食品	750				16			
ニチロ保管物流	4				1			
ニチロその他	60				△ 2			
合計	8,500	7,375	7,193	7,472	125	121	107	134

株式会社マルハニチロホールディングス

(参考資料2) 2008年3月期中間期魚介類販売数量・単価



マルハ株式会社

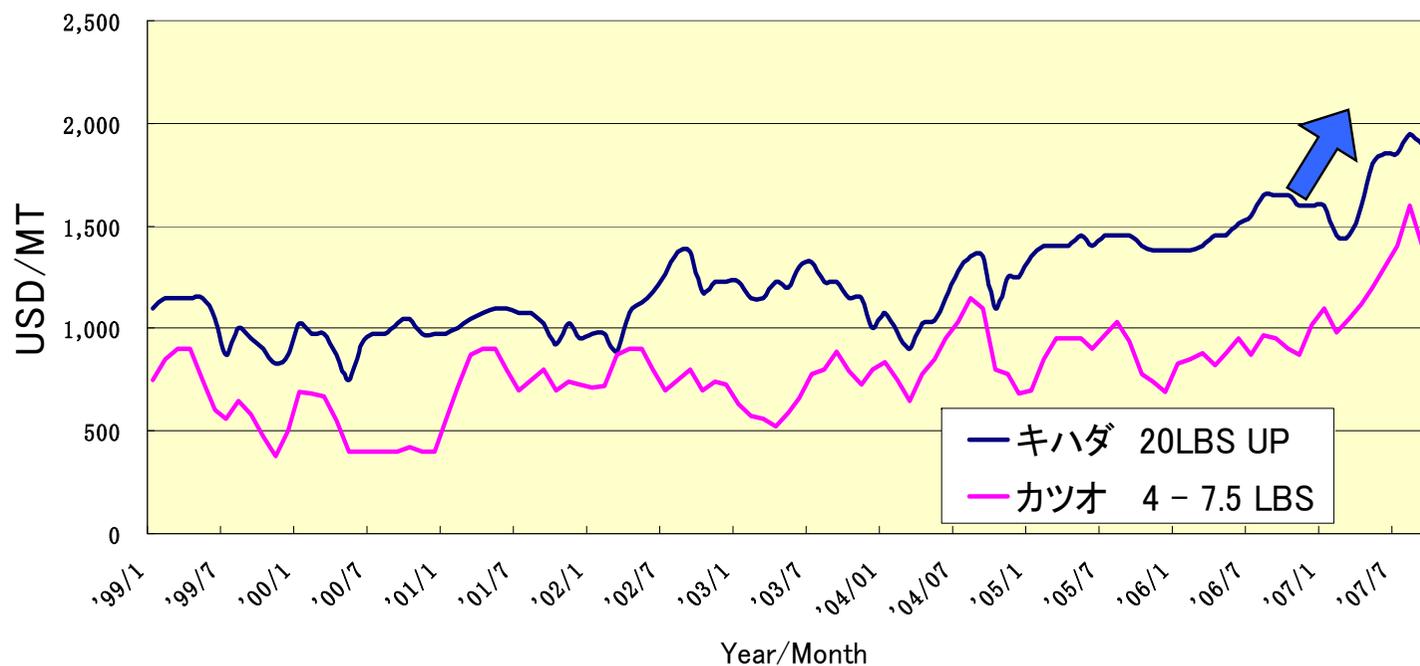
(数量:トン、金額:百万円、単価:円/Kg)

	2007年9月期			2006年9月期			前年対比					
	数量	金額	単価	数量	金額	単価	数量		金額		単価	
							増減	率(%)	増減	率(%)	増減	率(%)
南方魚	5,292	2,951	558	5,980	3,126	523	△ 688	88%	△ 175	94%	35	107%
北方魚	14,559	6,160	423	12,577	5,997	477	1,982	116%	163	103%	△ 54	89%
鮭・鱒	4,834	3,077	637	5,919	3,984	673	△ 1,085	82%	△ 907	77%	△ 36	95%
魚卵	4,842	5,270	1,088	4,923	5,458	1,109	△ 81	98%	△ 188	97%	△ 21	98%
マグロ	2,621	7,704	2,939	2,450	5,767	2,354	171	107%	1,937	134%	585	125%
鰹	329	241	733	3,382	686	203	△ 3,053	10%	△ 445	35%	530	361%
タコ・イカ	11,026	8,449	766	10,439	7,671	735	587	106%	778	110%	31	104%
エビ	16,864	19,110	1,133	19,727	21,545	1,092	△ 2,863	85%	△ 2,435	89%	41	104%
カニ	1,858	2,650	1,426	2,305	2,830	1,228	△ 447	81%	△ 180	94%	198	116%
貝類	5,113	6,493	1,270	4,790	6,088	1,271	323	107%	405	107%	△ 1	100%
すり身	22,851	6,793	297	21,436	6,178	288	1,415	107%	615	110%	9	103%
その他	9,189	6,818	742	8,827	6,964	789	362	104%	△ 146	98%	△ 47	94%
合計	99,378	75,716	762	102,755	76,294	742	△ 3,377	97%	△ 578	99%	20	103%

(参考資料3) バンコク原料カツオ・キハダマグロ
相場推移 (1999年以降)



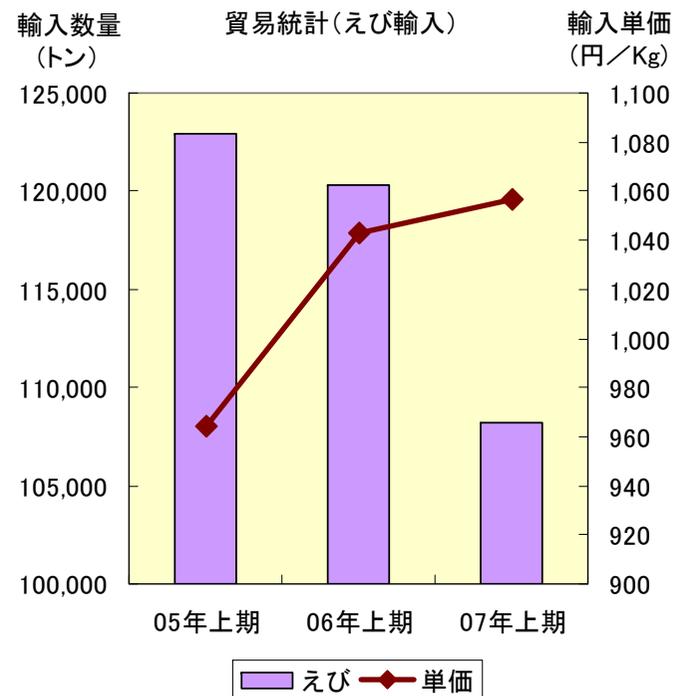
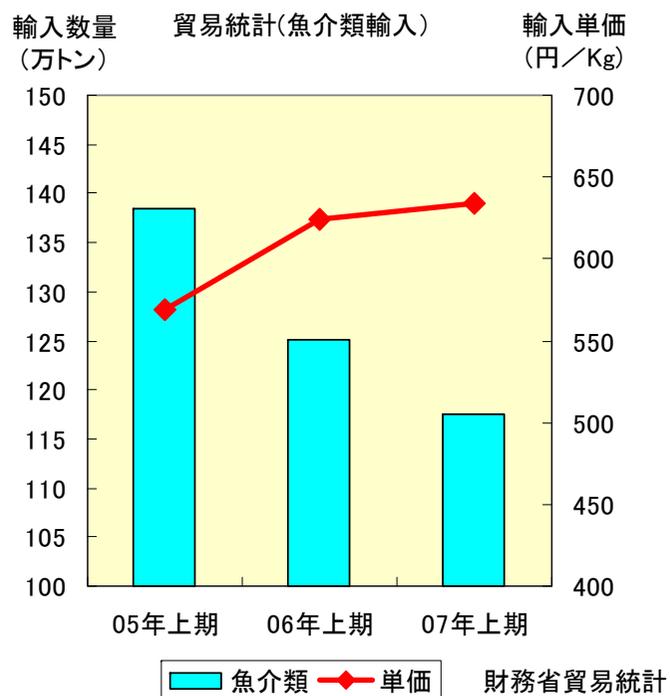
CFR Bangkok Price for Frozen YF & SJ Round



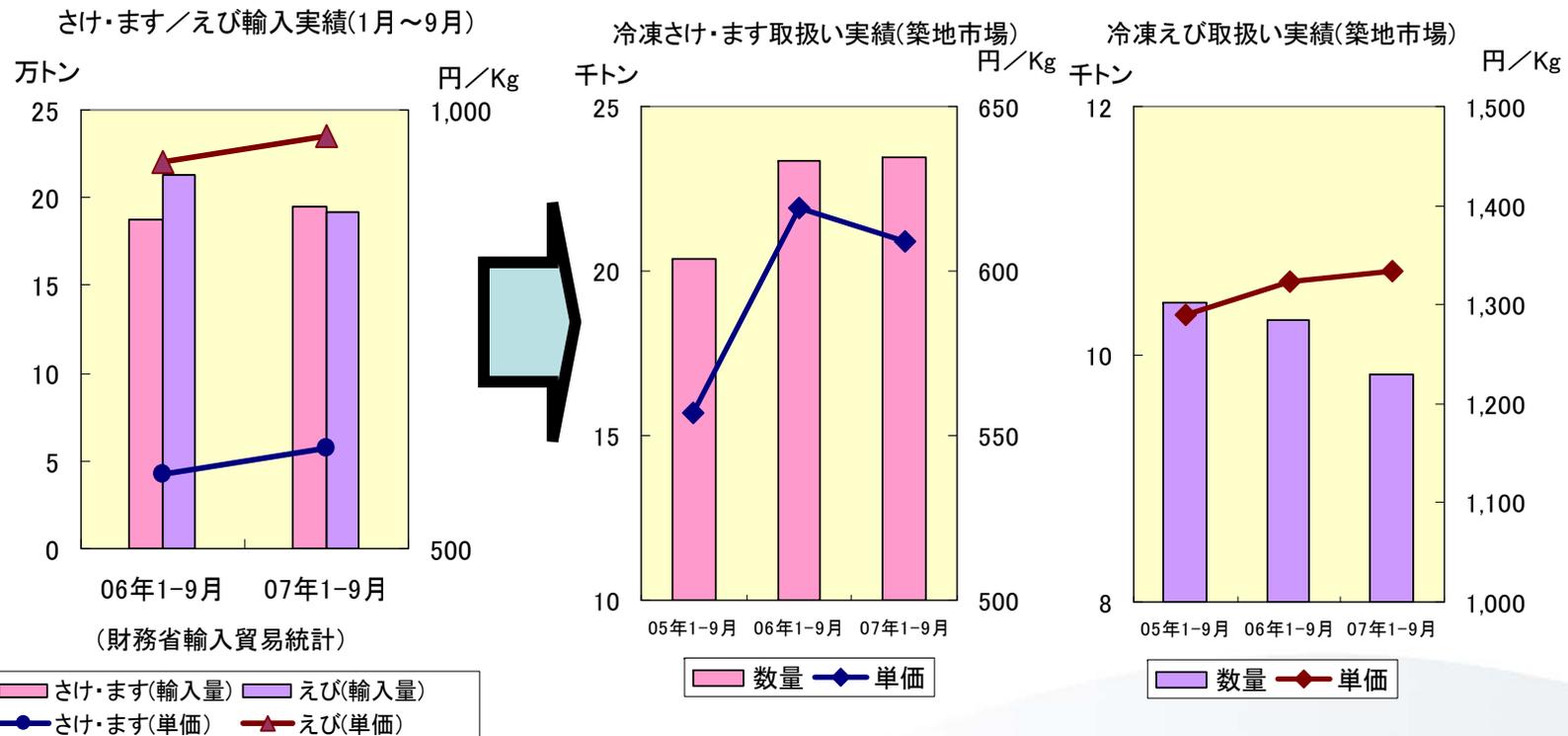
マルハホールディングス(タイランド)作成

株式会社マルハニチロホールディングス

(参考資料4) 魚介類輸入推移 (魚介類、えび類)

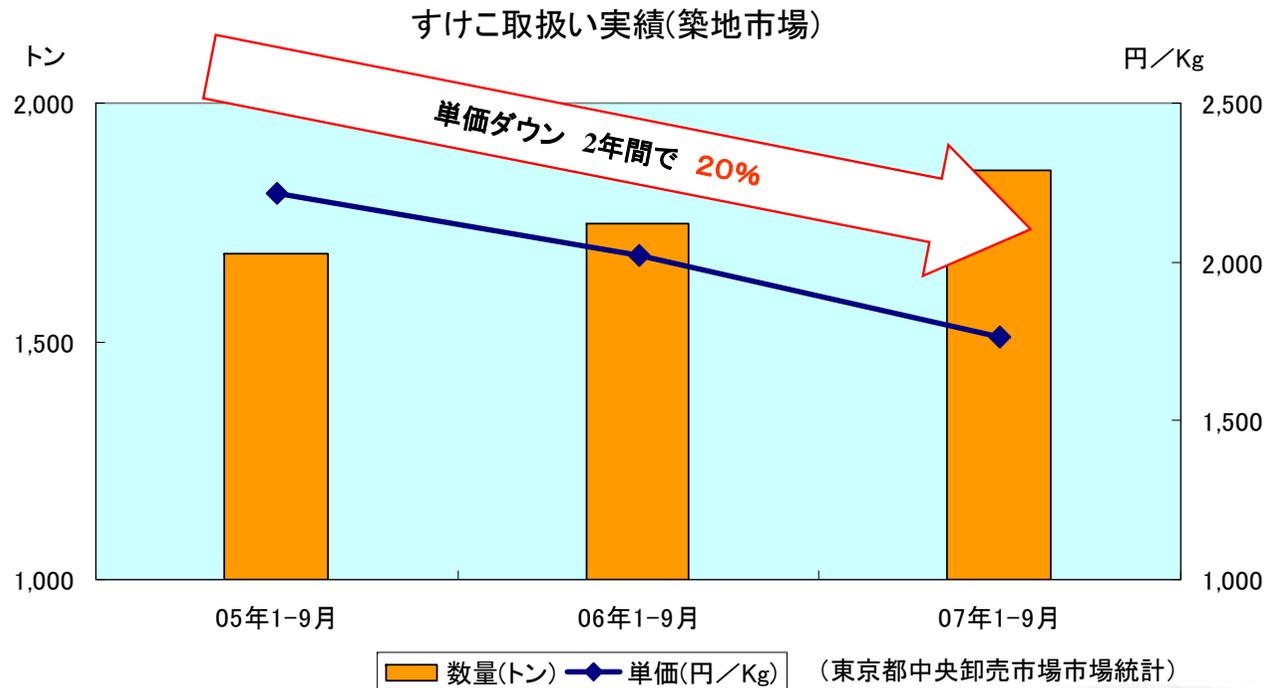


(参考資料5) さけ・ます、えびの輸入と販売状況



(東京都中央卸売市場市場統計)

(参考資料6) すけこ市況(築地市場)

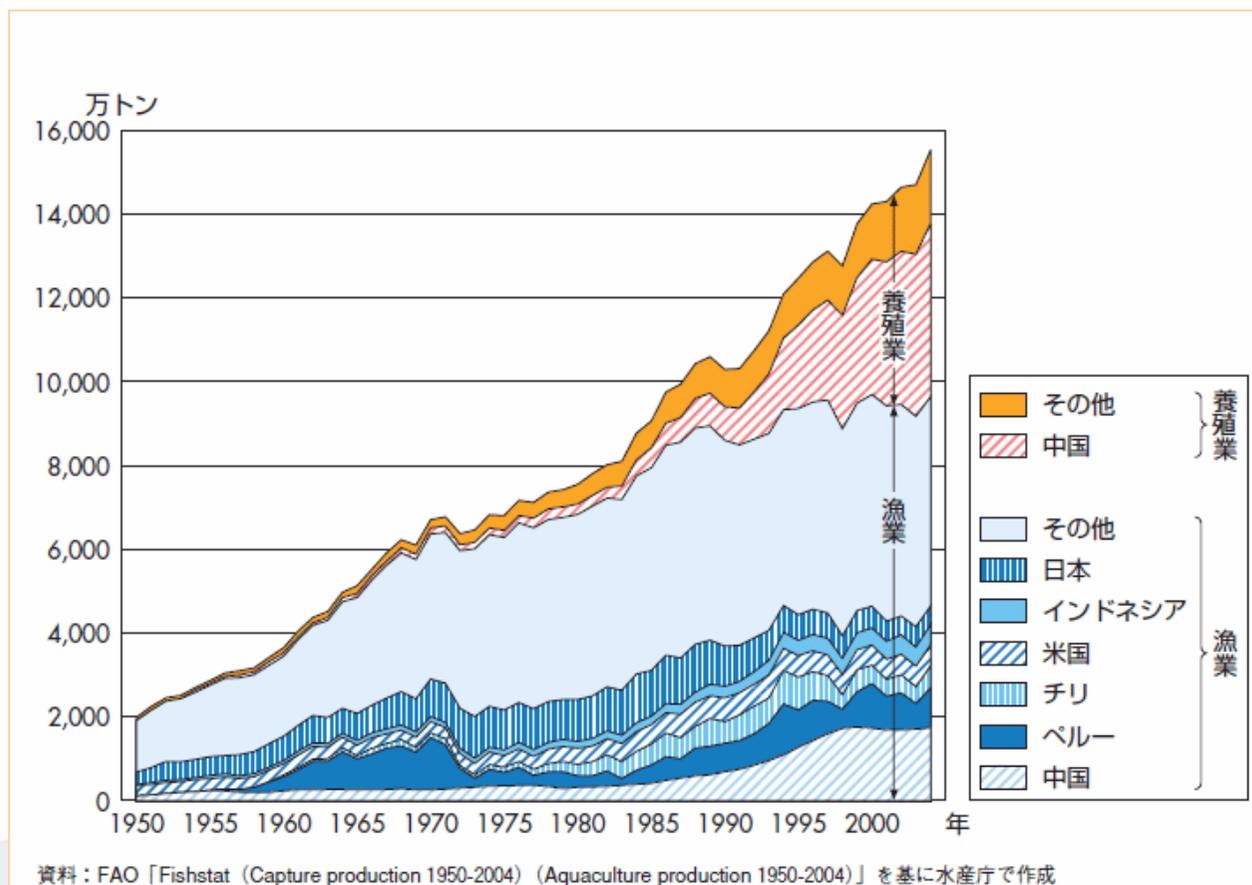


すけそうだら卵 輸入実績

2006年1月 - 9月: 51,494トン @¥1,239/Kg
2007年1月 - 9月: 45,147トン @¥1,173/Kg
△12% △ 5%

株式会社マルハニチロホールディングス

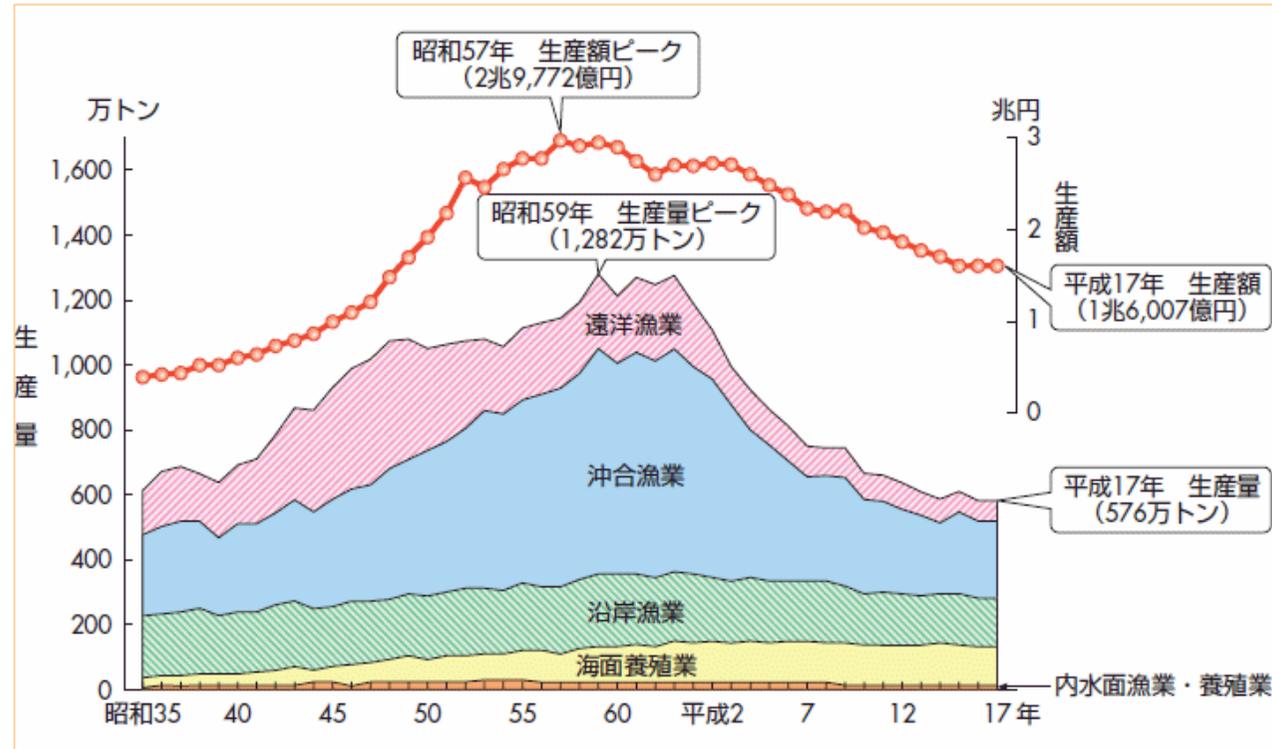
(参考資料7) 世界の漁業・養殖業生産量



(平成18年度水産白書)

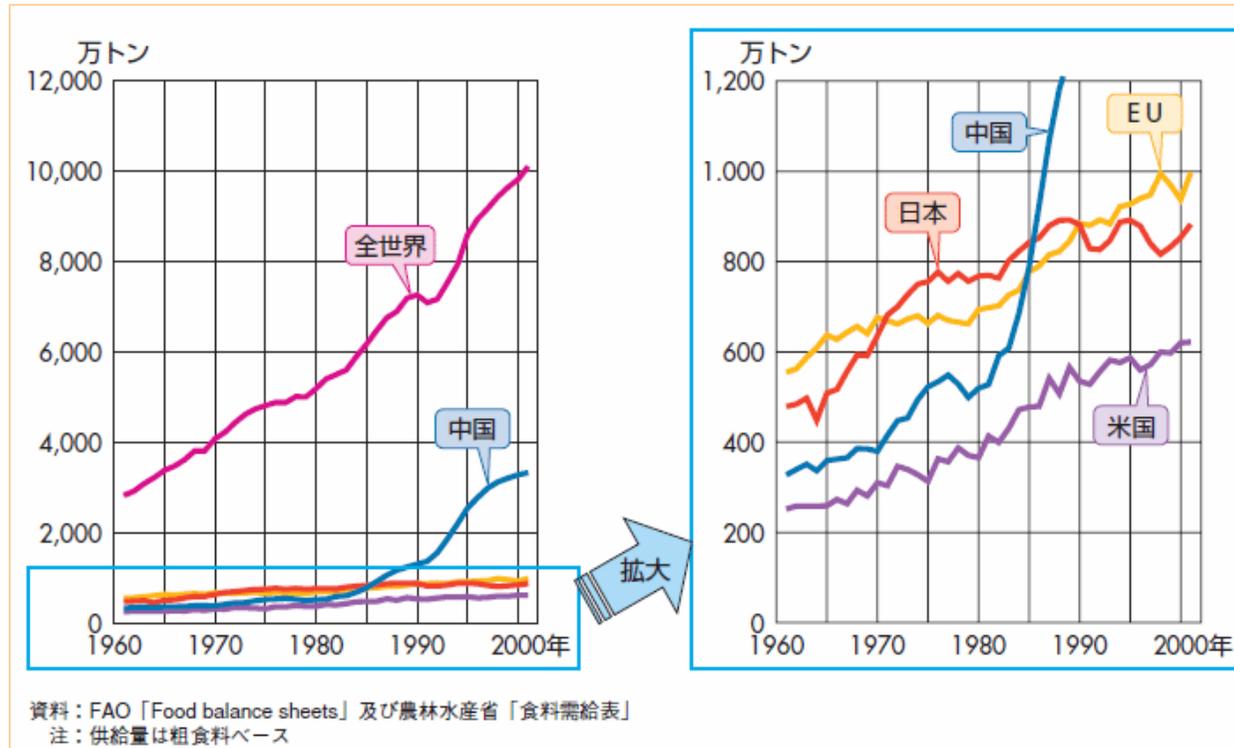
株式会社マルハニチロホールディングス

(参考資料8) 日本の漁業・養殖業生産量



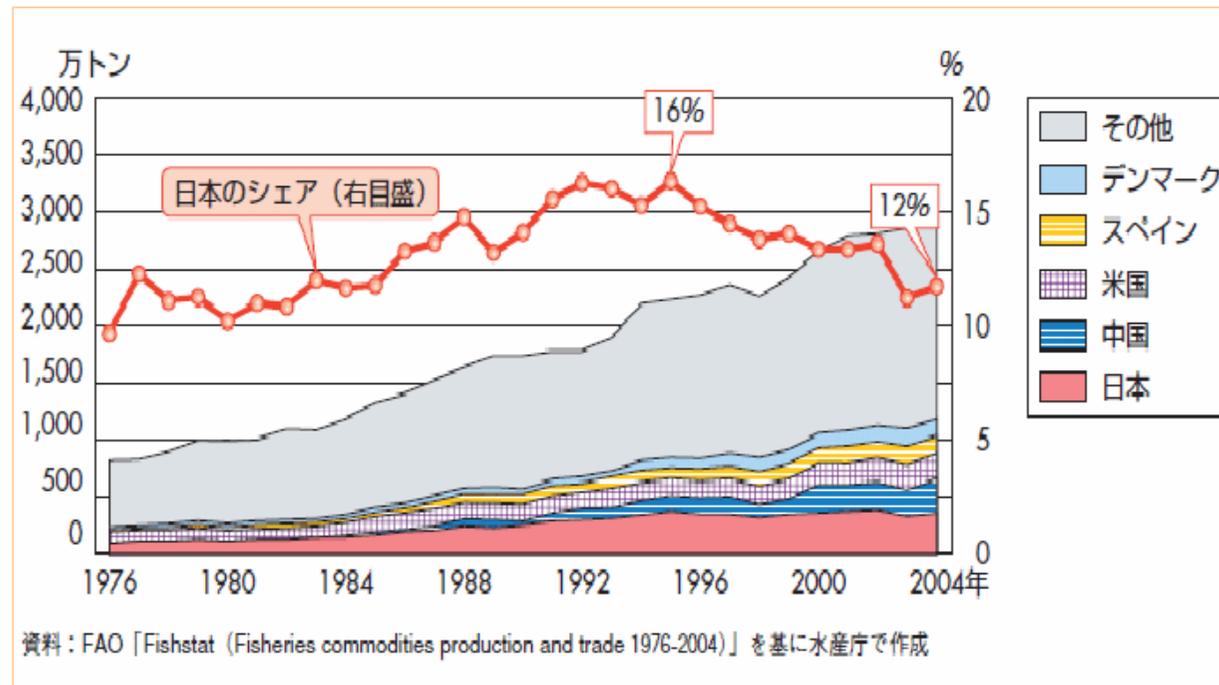
(平成18年度水産白書)

(参考資料9) 食用魚介類供給量の推移



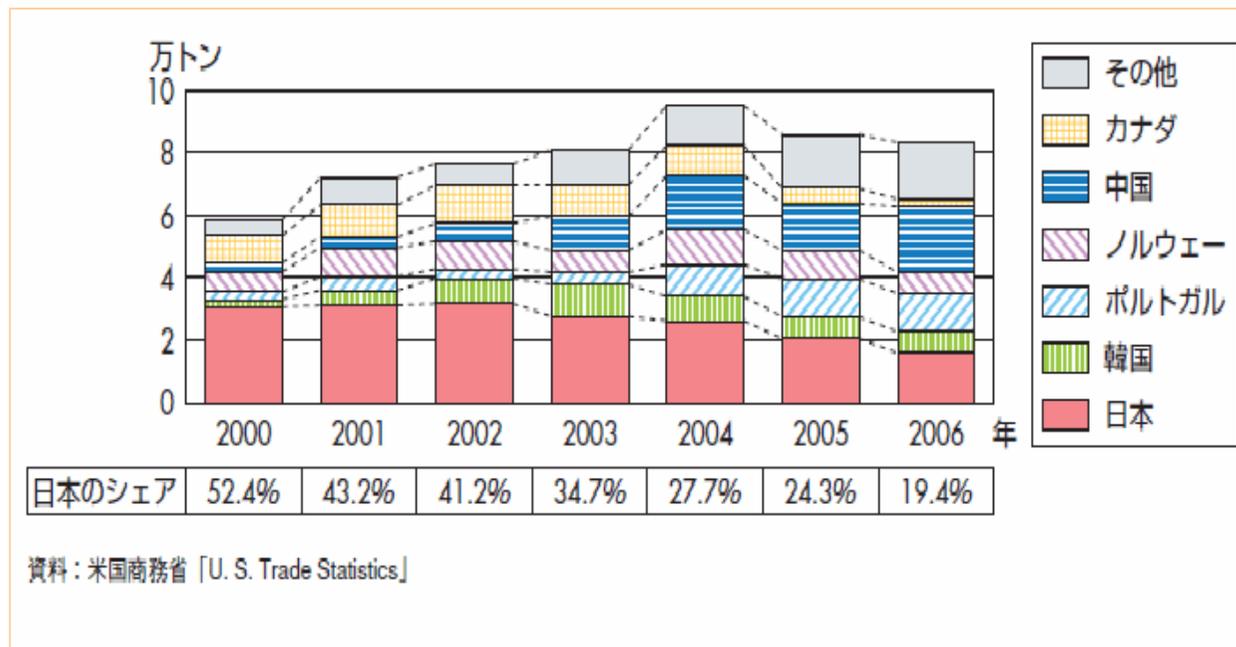
(平成18年度水産白書)

(参考資料10) 世界の水産物輸入量



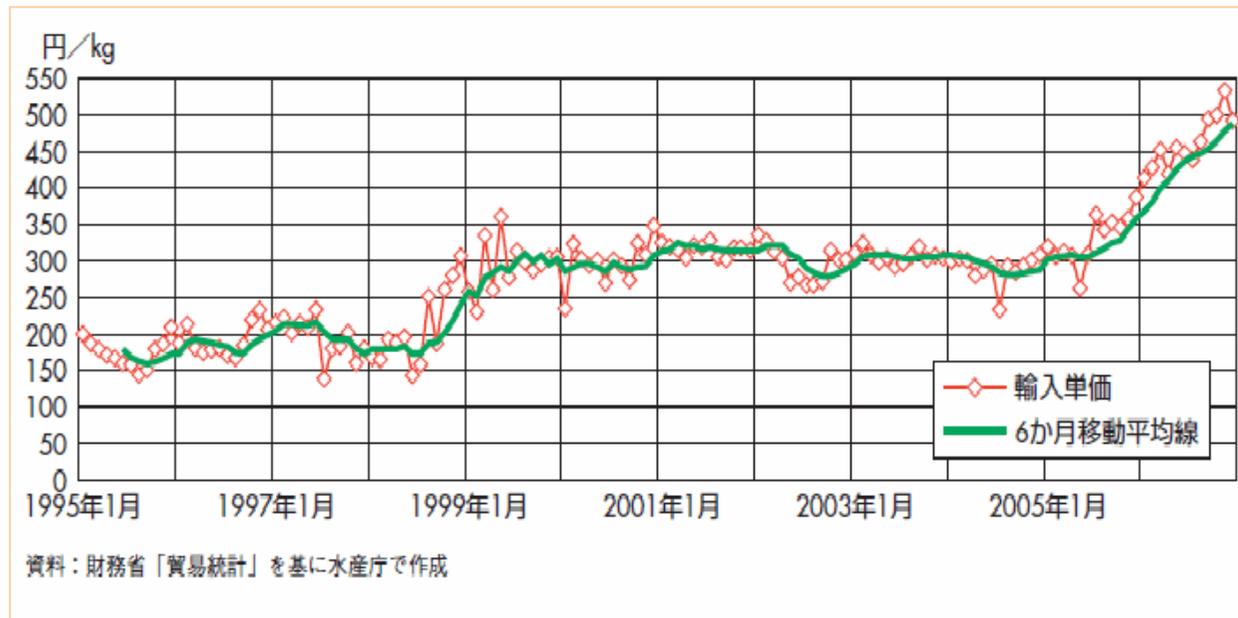
(平成18年度水産白書)

(参考資料11) 米国ただら輸出量と輸出先



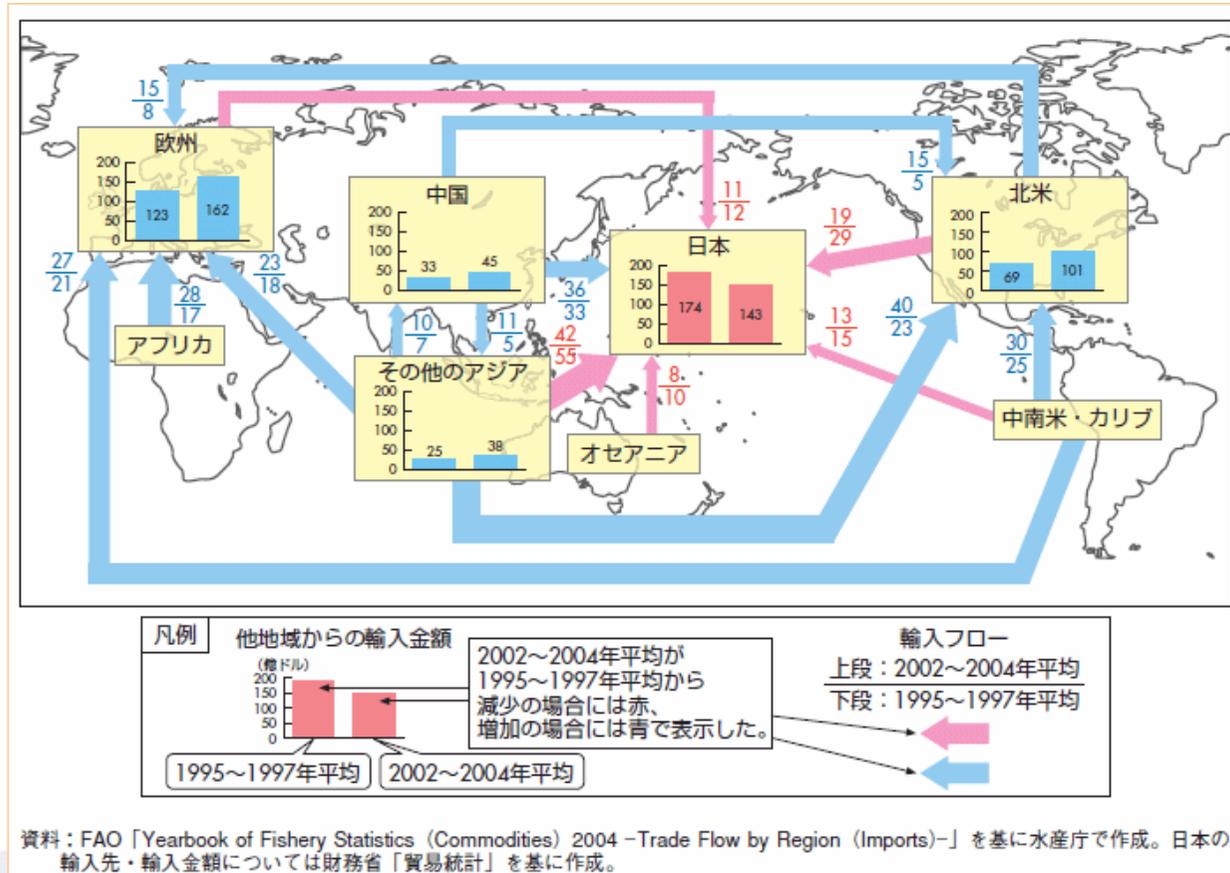
(平成18年度水産白書)

(参考資料12) まだら輸入単価推移



(平成18年度水産白書)

(参考資料13) 水産物の輸入フロー図



(平成18年度水産白書)

世界に美味しいしあわせを

当資料に記載されております計画や見通し、戦略など歴史的事実でないものは将来の業績に関する見通しであり、これらは現時点で入手できる情報から得られた判断に基づいております。実際の業績は様々な重要要素により、これらの見通しとは異なる結果をもたらしうることをご承知おきください。また、本資料は著作権やその他本書類にかかる一切の権利は株式会社マルハニチロホールディングスに属します

MARUHA NICHIRO